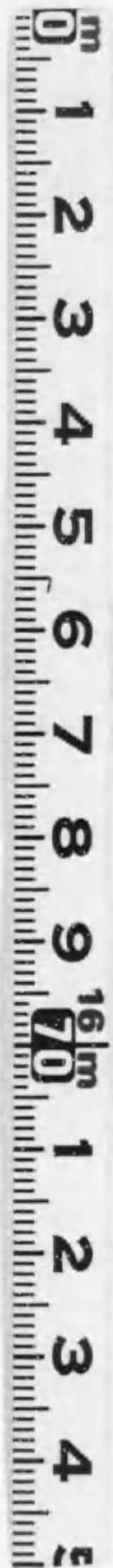


524  
281

護謨の栽培と其世界的需給

奥村幸二郎著



始



護謨の栽培と其世界的需給

奥村幸二郎著

## 護謨の栽培と其世界的需給 目次

英米ゴム戦	一	世界消費の七割は米國	三三
栽培ゴムの起因	三	其又八割は自働車タイヤ	三五
育成可能地帯と採算可能地帯	三	自働車	三五
ゴム園の廣さに就ての概念	六	運輸上の新傾向	三六
移民先、事業地	七	(鐵道敷設の先驅は自働車—市街電車の強敵)	
開墾より採收期に入る迄	九	古ゴムの再製—人造代用品の考慮	三七
樹種、種苗、採收、製造、販賣	二〇	ゴム園の投下資本及國別	三八
樹齡と産出量及樹命	二二	將來の生産量	三九
生産原價	二四	スマトラ、チャムビー洲	三一
栽培業の利潤	二五	ハーリング博士の報告	三二
護謨の産額	二六	チャムビーの實況	三三
斯業發達の經路市價の經過	二七	土人ゴム	三五
生産制限令	二〇	將來の産額及消費の關係	三六
最近暴騰の原因	二二	(苦力大不足—土人ゴム騰差)	
消費方面の研究	二三	結	三六
		南洋小話	三九

## 護謨の栽培と其世界的需給

南洋護謨拓殖株式會社 常務取締役 奥村幸二郎



英米ゴム戦

最近英米間に於て、ゴムに關する論戰が盛んに交はされ、其等の通信が海外電報として、頻々我國新聞紙上にも登載され、世人の注目を惹く様になつた。其二三を摘録せば、昨年十二月十四日米國商務長官フーパー氏は、一九二五年度米國輸入ゴム數量は九億封度の見込である、此價格は九億九千九百九十九萬九千九百九十九圓に達す、此く輸入金額の激増したのは全くゴム暴騰に因るので、之を公平なる價格で計算せば約三億二千五百萬弗に過ぎぬが、暴騰の爲此差額六億六千五百萬弗(約十四億圓)の大金を餘計に支拂はなければならぬ

と發表し、今や米國各方面では、頻りに英國に對し貿易上此報復手段を講ぜよと叫ばれ、又十二月十八日米國議會に於て

共和黨領袖デイルソン氏は  
英國植民地政府が、故意にゴム價格を釣上げて居るから、  
下院商業委員會をして之れが真相を調査せしむべしと  
決議案を下院に提出した。  
下院は本案に優先權を與へて、議事日程に先ちて直ぐ大審議  
する事になつてゐる。

本年一月六日米國下院ゴム價格調査委員會席上に於て、  
主黨議員マツク・オウン氏は左の如き提案をした。  
英國のゴム相場を引上げに對する報復手段として、海外へ輸  
出する棉花の相場を引上げよ而して此目的の爲め、産地よ  
り輸出港へ向け積出す、米棉數量を調節する委員會を設置  
せよ。

又一議員は憤慨の極、次の如く痛言してゐる。  
英國はゴムの價格引上げに依つて、米國から四十億弗の金

正しい  
大審議  
15.7.1  
内交

を吸収し、之を以て對米戰時債務の償還に充てる方針である、英國は泥棒である剽盜である。

今や此等は單に米國上下院に於ける政治的問題ではなく、朝野擧りて研究して居るのは、近着米國諸紙に依つて窺はれる。或人はゴム消費節約を叫び、自動車組合と協力し節約の通俗的標語を作り一般をしてゴム製品特に自動車タイヤ消費節約運動を開始し、或者は近き將來に於ける、ゴム饑饉襲來を豫想して之が對策を發表し、比律賓にゴム栽培を奨励せよとか、南米中米に於てゴム園を開けよか、人造ゴム或は代用品發明に努力せよとか、フワイヤストンゴム會社々長の如きは、武德弗を投じて亞弗利加利ベリヤ自由國に於て百萬英加のゴム園新開の企劃を發表し、米國ゴム協會は、比律賓又は蘭領スマトラに於て毎年一千萬弗宛五ヶ年間に亘りて支出し、新園を開栽し年々貳萬五千英加合計十二、三萬英加を開墾せしめんと唱導躍起になつて居る。紐育タイムスは、

議會が如何に調査を遂けても無用である、此問題に關し米國の爲し得る事情は、南米其他の地に注意を向け、ゴム供給の途を講ずるの一事あるのみである。英國の卓見なる政治家や先識者が、多年長く掛つて育て上げて來た利益を今更放棄する様淺ら強要しても駄目である、よく考へて見るがよい、英國人は嫌でも米國から棉花石油銅小麥を輸入し

### 栽培ゴムの起因

元來ゴムなるものは、南米ブラジル、アマゾン河流域に野生してゐる樹の樹液より製出せられてゐた物で、千古鬱蒼と繁茂せる大森林に分け入り、梅毒瘰癧と戦ひ、猛獸毒虫の危害を冒して、ゴム樹を搜索し其樹液を蒐め、之を塊狀杆狀に固めて煉製したるゴム塊を舟積し、數旬間漫々たるアマゾン河を下して、河口バラ港より歐米各國へ輸出する、之れバラゴムの名ある所以である。されどアマゾン河口並に交通至便な地方は追々切り盡されたので、漸次上流奥地に溯及し、現在では深奥の林地に分け入り氣候、害獸、蠶賊其他の外敵と戦ふの度益加はり從て生産費が嵩上する一方であるから、近年産額は殆んど増加しないのみならず、市價の關係上將來しても多大の期待を持つ事が出来ぬと云はれてゐるが時運の變遷、時代の進歩は益ゴムの需要を喚起して來たのである。

さて松より松脂、漆より漆液が採れる様に、熱帯所産のマニコバ、カスチロア、マンガベイヤ、バラダ、ヘベア屬と稱せらる、植物より、弾力性を有する樹液が採取され之れに若干工程を加へれば生ゴムとなつて、商品として市場に表はれる。

なければならぬ國柄であるが、若し英人が米國に向つて此等商品の値下げを要求して來たならば、米國人は如何なる感を抱くであらうか、冷靜な判斷を下して居る。

英國側では之に反し其ゴム栽培業者組合は左の通り聲明し泰然として其先見振りを誇つて居るかに見へる。

一、米國では最近ゴム相場の高騰に依つて大變騷いでゐるが、過去數年間ゴム價激落英國栽培業者が不況に沈淪して居た際には、米國は少しも同情しなかつたではないか。

一、米國ではゴムの自給自足を計畫してゐるが果して何處に於てゴム栽培を實行し得るのか疑問である、英國植民地の斯業が今日のブームに遭遇したのは、多年辛酸を嘗めた結果である。

此の如く世界の二大強國が、ゴムの爲めに赤眼を釣合つてゐる、何故此く迄反目してゐるのか、少しく此英米ゴム戰の近因及現況に就いて考察して見たいのである。

尤も此英米兩國の國際戰に對しては、吾等邦人は局外の第三者ではあるが、栽培業者としての筆者は矢張り此渦中に浮泛する一小泡として、此波瀾中に捲込まれてゐるので、自然我田引水の偏見に陥るやも測り難いのであるが、此等の點は豫め讀者諸彦の御有恕を希ふと共に御叱正を待つ次第である。

此等各種植物の内、専門家が各方面に亘り研究の結果凡ての點に於てヘベア、ブラジリエンス種が尤も優良豊産の樹種と確認せられてゐる。

今より五十數年前英國よりゴム種子蒐集の爲めブラジルへ派遣されたウキツクハム氏が、當時絶對輸出禁止をして居つた、ブラジルの國禁を犯して漸くヘベア、ブラジリエンス種の種子を倫敦キウ植物園へ持ち歸り、苦心慘愴の末成育せしめた幼樹を、一八七五年倫敦より印度錫蘭島へ僅かに二百本移植し更に緬甸、馬來、爪哇方面へ分布されたものであつて、故に此親樹も僅々五十年の年代に過ぎない。

最初新嘉坡へ移植された苗木は二十二本で、之が開花結實したのが一八八一年即ち我明治十四年である。爾來年を追ひ此等の種子が馬來半島のゴム園に播種され親は子を産み子は孫を殖やし今日栽培ゴム (Plantation Rubber) として世界的商品となり英米二大強國國際戰の基因となつたのである。今尙此親樹は新嘉坡植物園に現存し鬱蒼として繁茂してゐる。

### 育成可能地帯と採算可能地帯

紐育駐在ブラジル總領事マルチン・ビンヒイロ氏は、ゴム樹育成可能地帯は赤道南北各十度以内で、大陸的梅暑と適度の雨量ある地方でなければならぬ。地球上此面積は三千四百

萬方哩であるが此内八割二分即ち二千八百萬方哩は海洋のへ、残り六百萬方哩が育成可能地ではあるが、山脈湖沼砂漠礫地と食糧品耕作地を控除せば、ゴム樹栽培好適地は先づ三十萬方哩に過ぎぬ、此内二分の一はアフリカに屬し三分の一はアメリカで、殘餘六分の一約五萬方哩が亞細亞太平洋に屬するを謂つてゐる。

されば栽培好適地はアフリカ、アメリカに多くして亞細亞太平洋洲に少きに拘らず、後章詳述する如く世界産額の九割二分。栽培ゴムの九割九分強迄が南部亞細亞の産額であつて、しかも此等が馬來半島、錫蘭及蘭領東印度から産出されるのである。

何故斯く此方面のみが主産地で、他の方面にゴム栽培が發展せぬのか。

凡そ農林業を起すに當り如何に地味氣候が適當であり交通の便ありと雖、開墾栽培耕作採收の諸作業には多大の勞力を要する。然るにアフリカ、アメリカと此南洋方面を比較するに、前者には勞働者を集め難きに反し、南洋方面では柔順勤勉且力役に耐へ得る苦力を無限に供給し得る印度、爪哇、支那諸國に圍繞され、しかも其勞銀の低廉、能率の大なる實に世界無比の好條件を具備してゐるからである。

由來ゴムの相場は其上下騰落の尤も激しいもので世界的商品中之れ程波瀾の大きいものは稀である、從て斯業關係者の展せぬのか。

然るに此英商は如何なる故にや最近のゴム不況期を切り抜け得ず、昨年破産した相で之が爲め此ゴム園も賣物となつて市場に現はれ、茲に此園を據點として百萬英加金割が發表されたのである。租借面積千百英加植附樹數十四萬本杯といふゴム園は馬來方面では二流三流の中ゴム園であるが、何れも過去數年間の不況期を切り抜けて、皆今日の好況期を迎へてゐる、何故此英商のみが此ゴム園維持が出来なかつたか、筆者は此點に大なる疑問を抱くのである。交通の便否もあらうが、勞役者能率に大なる俾庭があるのではなからうか。

英國栽培業者組合は此舉に對し冷笑を以て迎へてゐる又其一人は實に無謀な事を企てるものだに筆者に話した事がある筆者は先年暹羅佛領印度支那へ往つたがゴム樹は成長し苦力問題も適當であるが、冬期數ヶ月は滲出量激減の故を以て休採するこの事であつたから新嘉坡方面の如く四時常夏地方の通りに年中無休採の地方に比して大なるハンディキャブがつく事なる。

比律賓ミンダナオ方面は好適地の様に聞いているが、未だ大なるゴム園のある事は聞かぬ、之には法律關係で土地租借

盛衰浮沈も激しいもので、今日の盛況に於ては勞銀高き、或は能率低き苦力を使ひアメリカ、アフリカに於てはゴム栽培を開始するにも經濟的採算は立つかも知れぬが、一朝不況期に際會すれば、世界的商品である關係上、生産費低廉なる地方産品に對抗し得ぬは自明の理である。米國フアイヤストン社長が二億弗を投じて、亞弗利加、リベリヤ自由國に於て、百萬英加開墾企劃を發表されたが、此等に要する數十萬人の苦力を何處から招致し得るや、しかも馬來方面と同條件の低廉勤勉なる勞働者が獲られるであらうか。

米國に於ける人種問題、差別撤廢の根源である同國の黒人は昔日奴隸として、此リベリヤ方面より掠奪賣されて來た子孫である、此等は渡米以來奴隸として強制勞役に酷使され、其後リンカーンの義氣と南北戦争の結果に依つて、自由を得且つ環境に刺戟感化されて今日の人格性質に馴致されたものであるが、之れには八十年の星霜と周囲の經濟事情が此等黒人種の進歩變化に大なる影響を與へてゐる。故に此等黒人種の本國であるところも此等と同等の勞役に従ひ能率ありと信じて數十萬人を要する百萬英加開墾の大事業を起したならば、果して豫算目論見通りの作業が實施し得るや否や。金力豊富、實行力偉大なる米國資本家の事なれば瘴熱瘴癘害患獸ミ戦機械力を用ひて人力を補ひ成し遂げるやも分らぬが此企劃の據點たるや、一九一〇年に英商ムンロピアンゴム會社

困難と適當なる勞役者移入が困難の事情がある、又マニラ方面は晩夏の交颯風颯風の襲來があるので、樹幹脆弱なるゴム樹は風害を蒙り挫折倒木の不利があるこの事である、さうして赤道附近の無風帯に限る である。

上述の次第のヘゴム樹育成可能地帯は随分あるが經濟的採算可能地帯は餘程局限される事になる。

筆者の狭き見解ではあるが今日の處では斯業採算可能地帯は英領錫蘭馬來と蘭領東印度中スマトラ、ボルネオ、爪哇の方面に限られて居る様に考へらる。

左の栽培ゴム園面積表に依るも世界總計四百廿九萬六千英加の内、其九割八分が英領、蘭領に屬し、僅かに其百分の二即ち八萬六千英加が佛領東印度に屬するのみで米領比律賓には何等計上されてゐないのも分る、其内譯左の通りである。

(第一表) 栽培ゴム園面積表 米、D.W. Figure 氏調 (米國商務省發表)

國	地 名	植付面積(英加)	採收面積(英加)	世界總植付面積に對する比例
英	馬來	1,111,000	1,081,000	五割三分
	錫 蘭	850,000	810,000	一割〇五厘
	印度、ビルマ	1,100,000	1,100,000	一分五厘
	北ボルネオ、サラワク、ブルネイ	114,000	47,000	四 分
英 領 計		2,175,000	2,048,000	六割九分

和蘭	瓜哇	11,900,000	10,900,000	貳割九分
佛領	交趾支那	6,000,000	6,000,000	貳分
總計		17,900,000	16,900,000	十割

採收面積は一九二四年末現在五年林以上のものを以てす

又英領蘭領聯合調査委員會調査に依れば次表の如くで、多少第一表とは相違するが大體に於ては大體符合してゐる。

(第二表) 栽培ゴム主産地採收面積表 (英領蘭領臨時聯合調査委員會調査)

領所	地名	採收面積 (英加)
英領	馬來	一九二一年 二,三三六,三三六
	錫蘭	一九二四年 四,四〇〇,〇〇〇
英領	印度、ビルマ	一九二四年 二,七〇〇,〇〇〇
	英領北ボルネオ	一九二四年 五八,三三三
蘭領	瓜哇	一九二四年 三,三三三,三三三
	スマトラボルネオ	一九二四年 五,四九〇,九〇〇
總計		一九二四年 九三,一五〇,〇〇〇

### ゴムの廣さに就ての概念

英加ミいふのは、英國の測地單位で十鎖平方が一エーカー

六  
で、我國の千二百廿四坪即約四反強に相當する。  
當業者では百、五百、一千英加ミいへば大凡そ其廣さに就ての概念も頭に浮ぶが、實地未知の方に對しては、見當がつけ難いものである。依て我國のものに比較して御參考に供する。

(第三表)

地名	坪數	英加換算
東京市	二四一〇六、四〇四坪	一萬九千六百九十四英加
大阪府(含築港)	一六五七六、五三〇坪	一萬三千五百四十三英加
上野公園	一九五、〇五三坪	百五十九英加
日比谷公園	四九、七八一坪	四十英加

右の次第で、緒言した如く、米國人は金力萬能主義を振り廻はして、やれ百萬英加を開くとか、年々貳萬五千英加を開するとか誇稱して居るが、從來の例に照らし一年間に一ヶ所二千英加も開拓出来れば好成绩と唱へられる位である。普通は一ヶ所一年間に五百英加か千英加位のものである。

世界栽培總面積は約三百八十萬英加、之は卅ヶ年を要して之れだけ開墾されたのである、一ヶ年平均十二三萬英加に過ぎない、又此總面積を平方哩に換算すれば、六百四十英加が一平方哩故五千九百卅七平方哩に當る、臺灣島の大約四割三分がゴム栽培地に當るのであるから、廣い世界より見れば

實に九牛の一毛に過ぎない。

米國に於ける棉花栽培地でも四千萬英加内外もあり小麥耕作地だけでも約五千四百萬英加であるからゴム栽培地は之が十分の一にも充たないのであるといへ、東京市が一萬九千餘英加、舊大阪市が一萬三千餘英加に過ぎぬが、南洋の天地に活躍して居る邦人ゴム園面積は何程であるか。其内重なるものを擧れば、

(第四表)

經營者 (本社)	所在	租借面積 (英加)	面積比較
古河合名會社 (東京)	蘭領スマトラ	三、五三八	東京市の二倍大
野村徳七氏 (大阪)	蘭領ボルネオ	三、一六八	東京市の約二倍
三五公司 (神戸)	英領馬來	三、八八九	東京市の約一倍二分
(三菱系統)	英領ボルネオ	二、四〇〇	東京市の一倍一分
久原鐵業會社 (東京)	英領馬來	二、〇三七	東京市の五割二分
熱帯産業會社 (東京)	英領馬來	二、〇三七	
(三井系統)			

之に依り大體の見當はつり得る事と信ずる。此外幾多のゴム園が各處に散在し、是等の關係者は常夏高温、海外萬里の異境に於て、十年廿年致々營々として廣大なる農園を擁して新業に隨ひ國利を圖つて居るのである、希くば我朝野の先覺者は眼孔を大にし、此等當業者の辛苦功績に對し之が獎勵推挽の舉に出でられんことを。

### 移民先、事業地

悲哉、物質貧弱にして耕地亦狭少なる我國に於ては今や國民所要衣食住の諸物質は、海外の産物を仰がざれば生活生存して行けない現状ではないか。

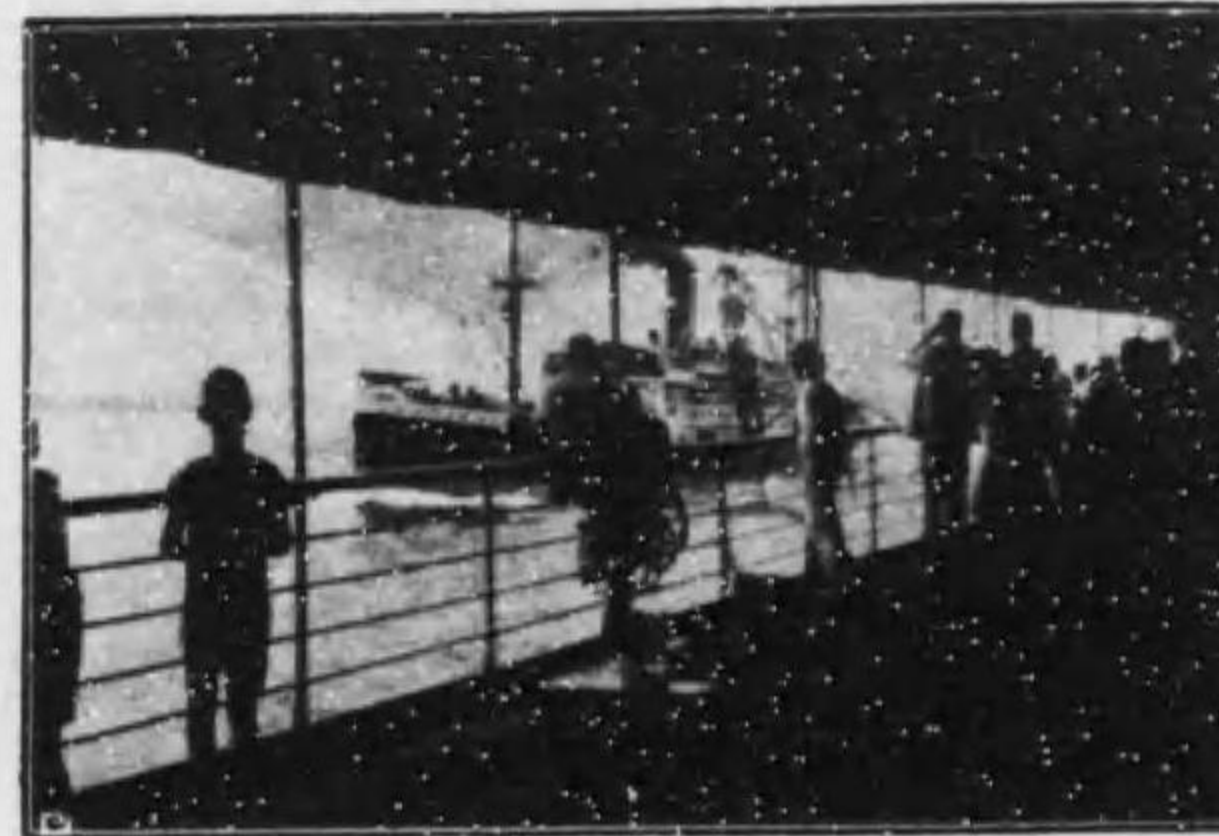
憂世の士が産業立國、教育萬能を唱へ、或は國產獎勵、曰く何々高唱絶叫して居るが、名論卓説許りて案外實行が伴つてゐないので、此等の諸説も實質に於ては空理空論に等しいのである。貿易上には粗製濫造品の輸出未だ其跡を絶たず、我國産の聲價を墜して居る、又年々輸入超過を重ねて正貨の減少物價騰貴、生活難の度は益々深刻となつて來て居る。

親の心子知らずか、國產獎勵の趣旨を穿き違へてか、此狭少なる境土に年々六七十萬人の人口が増産してゐる、一體此仕末はさうするのか、頭許り出来て小理屈は並べが、働きのない否働きは出来ても働きのない、帝國の現状を如何に進展せしむるのか、國狀に鑑み時勢を察して、速かに之が實行に着手するのが、現下の最大急務である。只徒らに蝸牛角上の争に耽り、議政壇上に咆哮しても、國運進展に寄與する何物もないではないか、議場に於て鐵拳を揮ひ牛咆鳥聲を發して得々たる徒輩よ、虎伏し象排ふ新天地に至り其蠻勇を

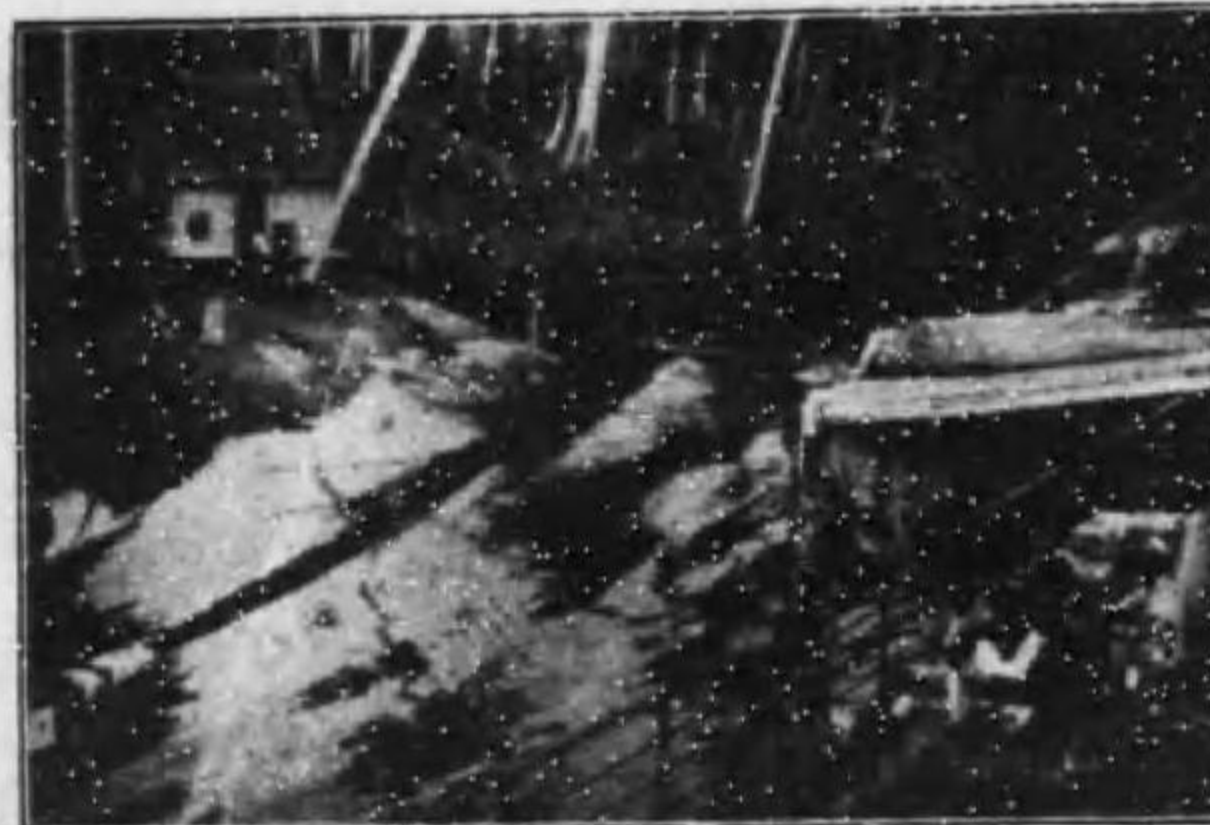
オネルボ哇瓜  
途上観



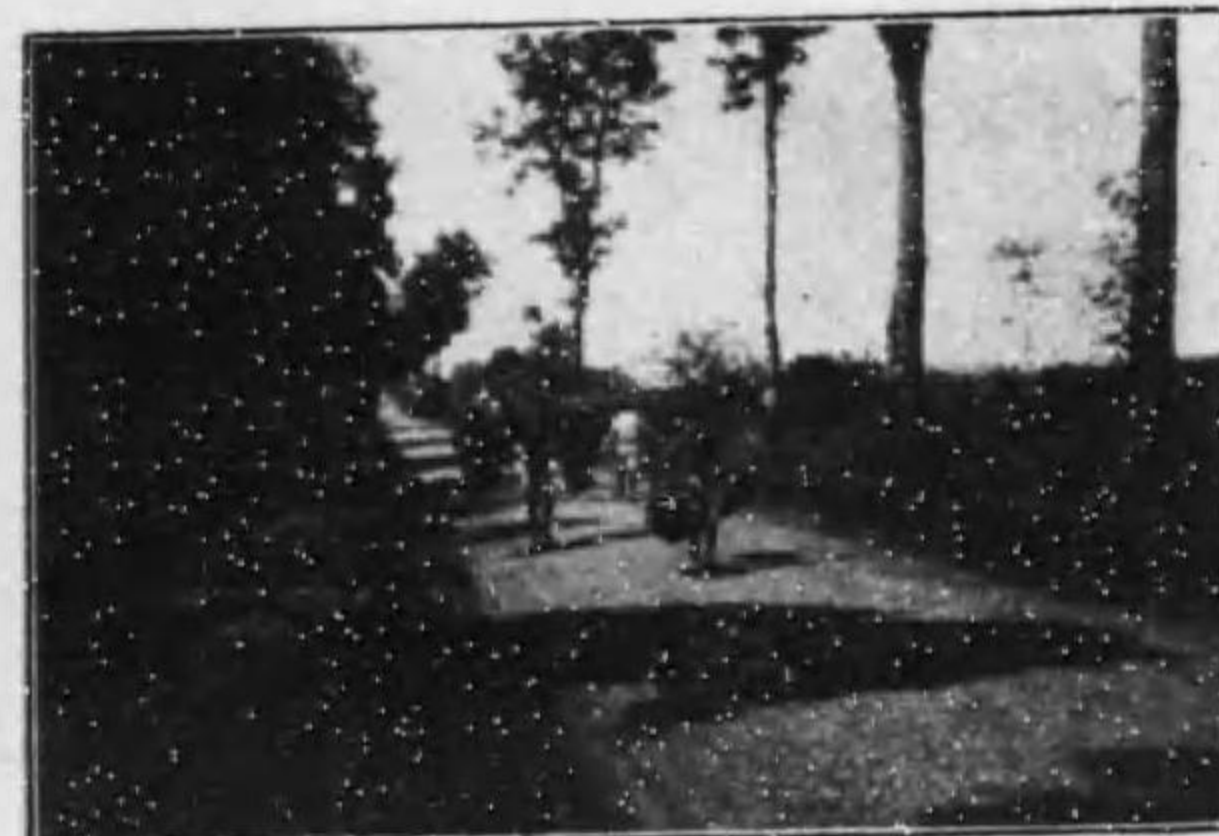
道街の哇瓜部中るた々坦



船汽MPK行哇瓜



航湖てに船汽の噸千二を川ラーブタルマオネルボ



道舎田の哇瓜部西



者筆と族ヤイダ種人喰人



場市の哇瓜部中



帆るな異奇船漁の人土オネルボ



場市物青のヤバラス



育發の蔗甘哇瓜るな盛旺



草煙ラトマスき高味香



實結の子椰るた々累

善用して鐵拳を鉄鋤に代へ椰子の木蔭に憩いて虎の嘯き象の遠咆でも聴聞して其心耳を澄まして來るがよからう。南洋の天地陽光赫耀天恵饒かに、晴雨好順生物繁茂し世界住民に要する、米、綿、砂糖、麻、珈琲、煙草にゴムに椰子にタピオカ。は累々穠々として實つて居る。

されど各地未だ開拓の緒に就いたのみで、豊饒肥沃なる林野は隨所に存在し、其處には幾多の有利事業が横たわつて居

つて、事業家放資家の渡來を待設けて居る。距離までも新嘉坡へ二週間、爪哇、スマトラへは三週間航程である。遠い様だが舊幕時代、大阪、廣島より江戸行きの旅程と同じである。否行旅の難易は今のほうが樂なのである。三百年前勇敢なる吾人の祖先は、輕船に帆して八重の潮路を乗り超へて南溟の天地に雄飛し、隨所に日本村を經營して居つたではないか。

## 開墾より採收期に入る迄

(事業者手より採收迄には早くも七年)

ゴム園の開墾經營法に就ては從來各方面より充分に討究せられ、到底此處に説述する事は不可能であるから、一般讀者の爲め單に其の一端を概説するに止めて置く。

英領馬來半島では土地拂下諸法規の改正があつて今では少々面倒ではあるが、蘭領スマトラ、ボルネオでは今尙相當の手續をなせば、無料を以て租借し得るが之れには多少の時日を要する。されど交通の至便な適地は既に先願者や租借者があつて、多大のゴム園候補地を持つて居るから、幾分の權利料を支拂へば讓渡を受ける事が出来る。

ゴム園撰定の要項は、交通氣候地味地勢雨量風土病等を考察して適地を撰定する事が必要である。

馬來地方の租借年限は九十九ヶ年、蘭領では永借地權が普通七十五ヶ年である無論租借地といふ名義であるから、法的實質は所有權とは異つてゐるが、其期限中賣買讓渡も出来、滿期後は更新繼續なし得る事でもあり、又七十五ヶ年九十九ヶ年といへば、吾等の孫や曾孫の時代であるから、經營上土地權如何を左程八釜數論議研究する必要はなからうかと思ふ。所有權であろうが租借權、永借地權であろうが、經營者

の立場から見れば其處に何等の差違がない。

馬來、スマトラ、ボルネオには嘗て一旦開墾された後放棄された再生林（再生林）、野火に燒拂はれたラン原（我チガヤ草類似のもの）、古來未だ斧鉞加はらざる千古の大森林即ち處女林（処女林）がある。再生林、ラン原よりは處女林開墾の方が大袈裟にはなるが土壌に千古堆積の有機質養分に富むから此方面の方が結果が良い様である。

### 開墾

土地の撰定終り開墾を始むるには先づ林地を測定し、區劃部署を定め起業に着手するが、第一は苦力募集と小屋掛けである。次いで伐木作業を始める。

### 燒拂

彼の亭々として天空に聳ゆる喬木、蒼鬱として繁茂せる老樹の柱に分け入り、鉞斧を振ふて纏繞匍匐せる藤蔓類を伐り拂ひ、虎豹犀象の巢窟を覆へし、蟠屈せる樹幹、錯列たる木立を伐倒して、酷烈なる天日に乾燥する事數旬の後、風位天候を見計つて放火燒燼するのであるが濛々たる黒煙天爲めに暗く、彈裂燃燒する音木魂に響きて物凄く、焰々たる紅蓮天を焦し、鹿猪猿蛇の群は火に追はれて狂奔する様實に凄壯快絶、自然を征服する人類の偉力の如何に偉大なるかを示すは此燒拂作業である。

此燒拂が濟めば燒残れる樹根の傍に更に殘木を掻集め跡片付の爲め更に第二の燒拂をなす。此等の爲め土壌は千古堆積の腐植土上層に更に灰分を以て掩はる。次で地勢に應じ道路



排水溝を設け地取り植付に取掛る。

**植付** は學説及經驗上種々の意見もあるが、遠き將來を慮りて大間隔に植ゆるミ、間伐枯損の豫想にて稍密植するミ双方あるが、大體に於て、十八呎間隔に植ゆれば一英加(千二百廿四坪四反廿四步)に百卅四本、廿呎平方なれば百三本卅呎平方なれば四十八本である。

植付には第一に種子を撰擇し苗床に蒔き、發芽後半年乃至一年半後に氣節を見計つて所定の處に穴を穿ちて移植をなし其後は自然の氣温、雨量ミ手入に依つて成育する。植附終れば、ゴム樹其物の發育力は非常に旺盛なるものであるが、四時高温常夏の土地柄且多雨の地方故、雜草の繁茂も亦猛烈であり蟻白蝨其他の病虫害、又は鹿猪象等幼樹嫩葉を嗜喰する獸類の豫防驅除には周到なる監督手入を要する、而して植附後六七年も経過せば、枝葉擴がり林地を掩ふに至る故、自然雜草も繁茂せず、從て除草手入費も遞減して行く。

コーランボ植物園試驗ゴム樹發育報告には

(第五表)

樹齡	地上三呎の樹周	直徑
滿五年	卅四吋	八吋
滿六年	卅吋	一尺
滿七年	卅六吋	一尺二吋
滿八年	四十二吋	一尺四吋

滿九年	四十八吋	一尺六吋
滿十年	五十四吋	一尺八吋
滿十五年	八十吋	二尺六吋
滿廿年	九十吋	三尺

之れ植物園にて地味手入最良の結果ミはいへ一般ゴム園でも、先づ此表より二三年間割引したものと思へば大差なからう。

何れにするも六七年目に直徑一尺、十年目に一尺八寸さいふ旺盛な發育振りで、樹周十八時に達すれば、採收開始が出来る故、遅くも六年木より採收期に入るのである。

### 樹種、種苗、採收、製造、販賣

現在栽培ゴムの大宗たるヘビヤ・ブラジリエンス *Hevea Brasiliensis* 種は、大戟科ヘビヤ屬で高さ十丈樹周七尺にも及ぶ喬木である。元來南米ブラジル地方に野生して居つたのを約五十年前南洋地方へ移植されたものである。我國でも諸方で鉢植として陳列されて居るゴムの木ミ稱して年始用のゆかり葉に似た葉の樹はフキカス・エラスチカ種で、彼の幹より滲出する乳液よりゴムは出来るが、實驗上採算價値が尠いので現在では此樹種は何處でも殆んミ植栽せぬものである。筆者は臺北に於て此樹種が庭に植へてあつたのを實見した

が、之は單に育つて居るミいふだけのものであろミ思つてゐる。

さてヘビヤ・ブラジリエンスの葉は、長き葉柄より三葉づゝ生ずる復葉で、表面鮮綠色裏面稍や白色を帯び年一回位落葉し嫩葉は可憐な赤色で楓の紅葉に似てゐる。花は小形で黄白色甘き香がある。果實は大きく且堅く三房に分れ、一房一個の種子あり。殻は弾力に富み成熟期に達すれば、音を發して裂開し、種子を數十尺の遠方に散布せしむる。

種子は焦茶色に灰白色斑紋ある殻を被る雀卵大で油分に富むが、發芽力及其發芽歩合は非常に短少のもので、最初南米よりの移植には非常なる苦辛があつた事ミ考へられる。

**種苗** 栽培ゴム業勃興以來年尙ほ淺き事故、種苗撰擇の經驗に乏しかつたが、漸く近年に至り、植物遺傳學上及實驗に依り、強壯長壽且豐産樹に就ての研究が非常に進歩し、斯界近來の大問題ミなつてゐる。何ミなれば一年草の耕作ミ異り、多年生の林木なれば種苗の良否如何が將來の産額に大影響を及ぼし普通一英加年産三四百封度のものだが最良豐産種だミ年産六七百封度も採れるので從つて其園の盛否優劣の岐る、事になるのである。採收期に入れば樹皮を切付けて樹液を滲出せしむる、之を切付けミいふ。

**切付** 此方法も種々あるが、現今一般に行はれてゐるは、V字形一段、二分の一段、三分の一段、四分の一段

段等で、特種のナイフを以てゴム樹の形成層、心材を傷けざる範圍に於て其表皮原皮及び乳管組織迄切削り込み、乳管組織より分泌する牛乳狀の乳液を流出せしめて採收コップに滴下せしむるのである。

無論此技術には非常に巧拙がある。切付淺ければ滲出少く深ければ樹身に傷をつけ滲出樹齡に關係を及ぼす影響甚しき故、充分なる注意監督を要する。

**採收** 採收苦力は雨天に非ざる限り毎日拂曉より持場に至り、受持林の切付をなし普通受持四百本の切付終れば最初の切付け樹へ戻る、もはや此時には此樹の乳液滲出は止まり其大部分はコップに溜つてゐるからバケツを持つて次へ次へミ集めて廻はる。

大園中國では途中に收集所を設けて、更に牛車又は軌道に依つて、工場へ運搬し來るのである。之が丁度午前十時より十一時過ぎ迄で雨天の外は年中無休毎日ゴム液が採收される。尤も近來は滲出可能年限延長の考量より隔週隔月切付の利益が唱道され、一週又は一ヶ月休むでは次の期間を切付ける交互的採收法も採用されてゐる。

**製造** 工場へ運ばれたゴム液は、先づ金網で濾され混入せる雜物を除きたる上、凝固槽に移され凝固促進劑たる醋酸水溶液を混へ、一二時間放置すれば豆腐の様に凝固する、ローラに掛けて洗滌壓搾し、強壓を加へて之を薄く縮緬狀の

帯状にせば、クレープ・ラバーミナリ、稍厚く布状に壓搾せばシート・ラバーミナリなる。

此等は何れも水分を含有し腐敗發菌する虞れある故乾燥の必要がある。何れも乾燥室に移され、クレープには硫黄燻蒸法を施して淡黄白色の品をなし、シートは十日内外煙に依つて燻す。ブランデー色の透明なのが良品と唱へられてゐる。之をスモークドシートといふ。

採收より製造完了迄約二週間で、工程は至極簡單である。荷造をなして市場へ出せば、之れで世界的商品として賣買されるのである。

尙此外、乳液其儘で港へ送り、船舶の乳液槽にポンプにて注入し、其儘スマトラより太平洋を超へて米國へ輸出販賣して居るものもあり、又原産地に於て乳液を集め、遠心力應用熱氣乾燥機に依り、水分を蒸發せしめ純ゴム分のみを粉狀乾燥せしめて、輸出して居るものもある。此法に依ればゴム園としては乳液を蒐集して、之れを販賣すれば良いのである。

#### 販賣

新嘉坡には同地商業會議所内にて、毎週日を期しオークションが開かれる。之れには會員があり其代表者集り、出品見本熟覽の上、定め通り一口宛順次に競賣して居る。ゴム園としては、先づ其會員へ見本を送り數量最低値段受渡期日場所を指示し置けば、オークションへ出品し、商談調へば受渡代金授受等一切の取引手續を代辨し、數日後には精

算の上代金を受領する事が出来る。

右會員は何れも一流の紳商で、邦商としては三井物産三菱商事千田商會等である。

右は現物賣買であるが、三ヶ月六ヶ月等の先物契約も出来又英人園では騰落の激しいゴム相場の不安定より来る不慮の損失を豫防し數年に亘る林産收入の一定安全を圖る目的を以て、二年三年間に亘りての製品の先物賣約をなす向もある。

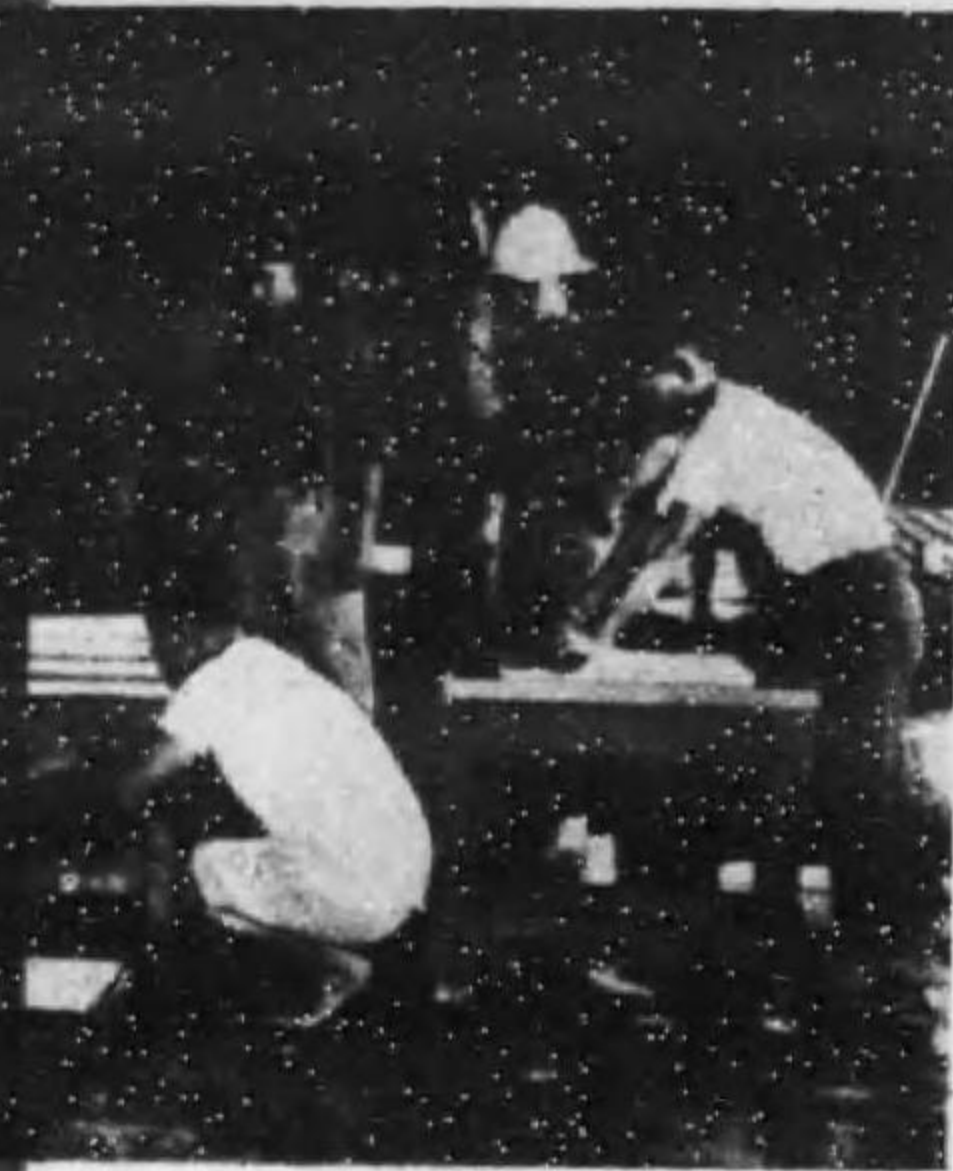
#### 樹齡と産出量及樹命

一日一英加一封度  
最大年産五百封度

前述の如く播種より遅くも滿六年、即ち七年目よりは採收期に入るものであるが、さて樹命は何十年か、將亦採收可能年限は何年かといふ事に就き、經營者として又放資家として大なる考量を拂はなければならぬ。

切付は普通六年木七年木より始めるが、樹幹の生長と共にゴム液産出量は遞増し行くものであるが、嚴密に言へば、地味地勢雨量氣温等の外的條件と、樹種、種苗、手入、切付法の如何に依つて、多少の相違を來すものである。さり乍ら、從來の經驗に依り大體の標準は既に今日では定まつて居る。斯界權威者であるカムミンダ氏が、舊臘新嘉坡に於ける馬

固凝ムゴ



てに園ムゴサンラ

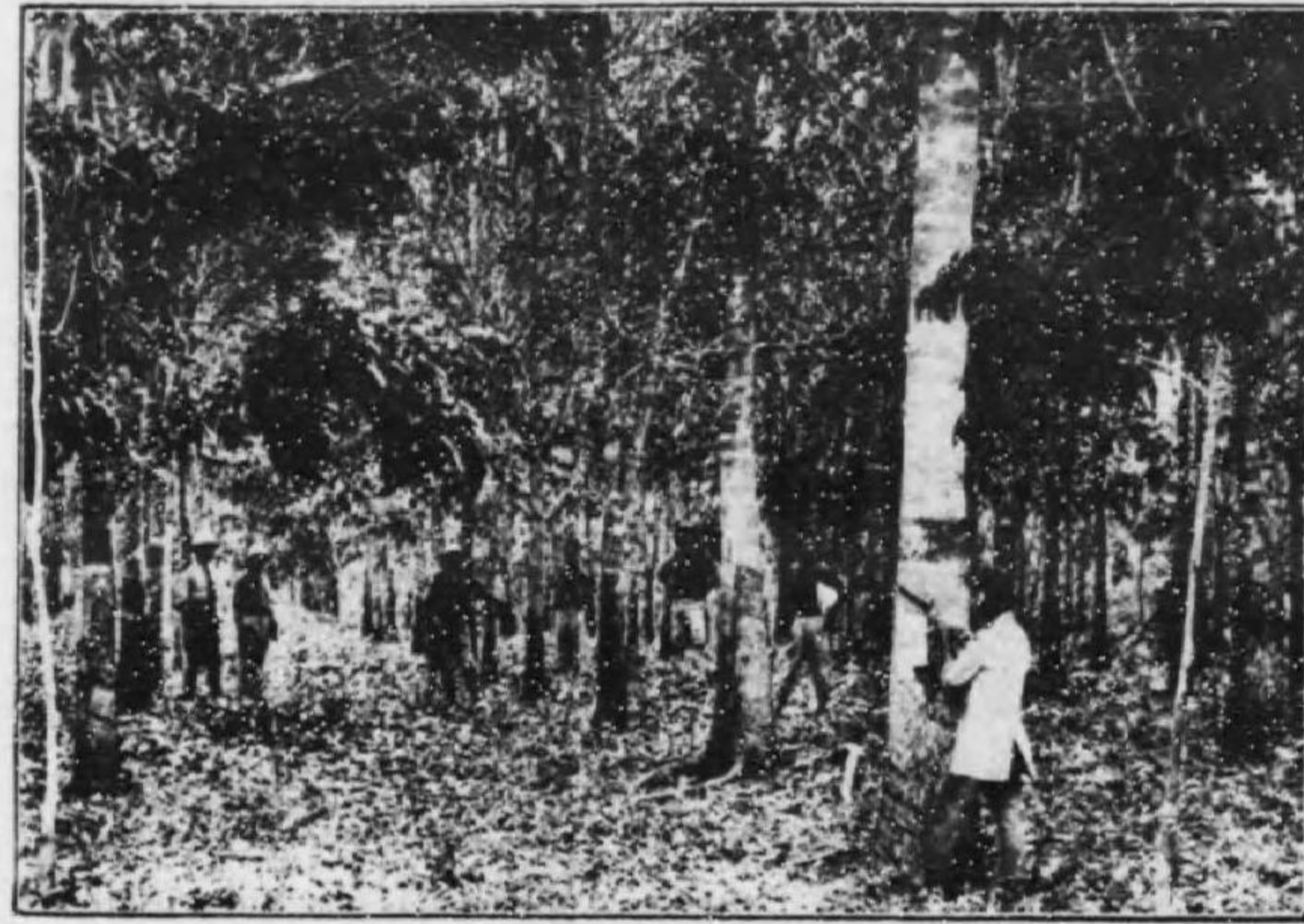


ムゴ



ネルボ)

林年四十



M D C B A  
E 葉 果 同 果  
(マツチ) 殻 實

景の入搬へ場工を液ムゴ取採



樹親のムゴるたし殖繁に面方洋南



新嘉坡植物園内 人物は筆者

付切段一型字V



イ、ロ、ハ、に沿ひ樹皮に搔傷を附せば  
乳液滲出ホへを経てコツプに流込む

イ、ロ、ハ、V字型切附  
ホ、縦溝、ニ、切付ナイフ  
金。ト、受入コツプ

林女處



一年牛木



四年林

此外、乳液其儘で港へ送り、船中の乳液槽にポンプにて  
注入し、其儘スマトラより太平洋を超へて米國へ輸出販賣し  
て居るものもあり、又原産地に於て乳液を集め、遠心力應用熱  
氣乾燥機に依り、水分を蒸發せしめ純ゴム分のみを粉狀乾燥  
せしめて、輸出して居るものもある。此法に依ればゴム園とし  
ては乳液を蒐集して、之れを販賣すれば良いのである。  
**販賣** 新嘉坡には同地商業會議所内にて、毎週日を期  
しオークションが開かれる。之れには會員があり其代表者集  
り、出品見本熟覽の上、定め通り一口宛順次に競賣して居る  
ゴム園としては、先づ其會員へ見本を送り數量最低値段受  
渡期日場所を指示し置けば、オークションへ出品し、商談調  
へば受渡代金授受等一切の取引手續を代辨し、數日後には精

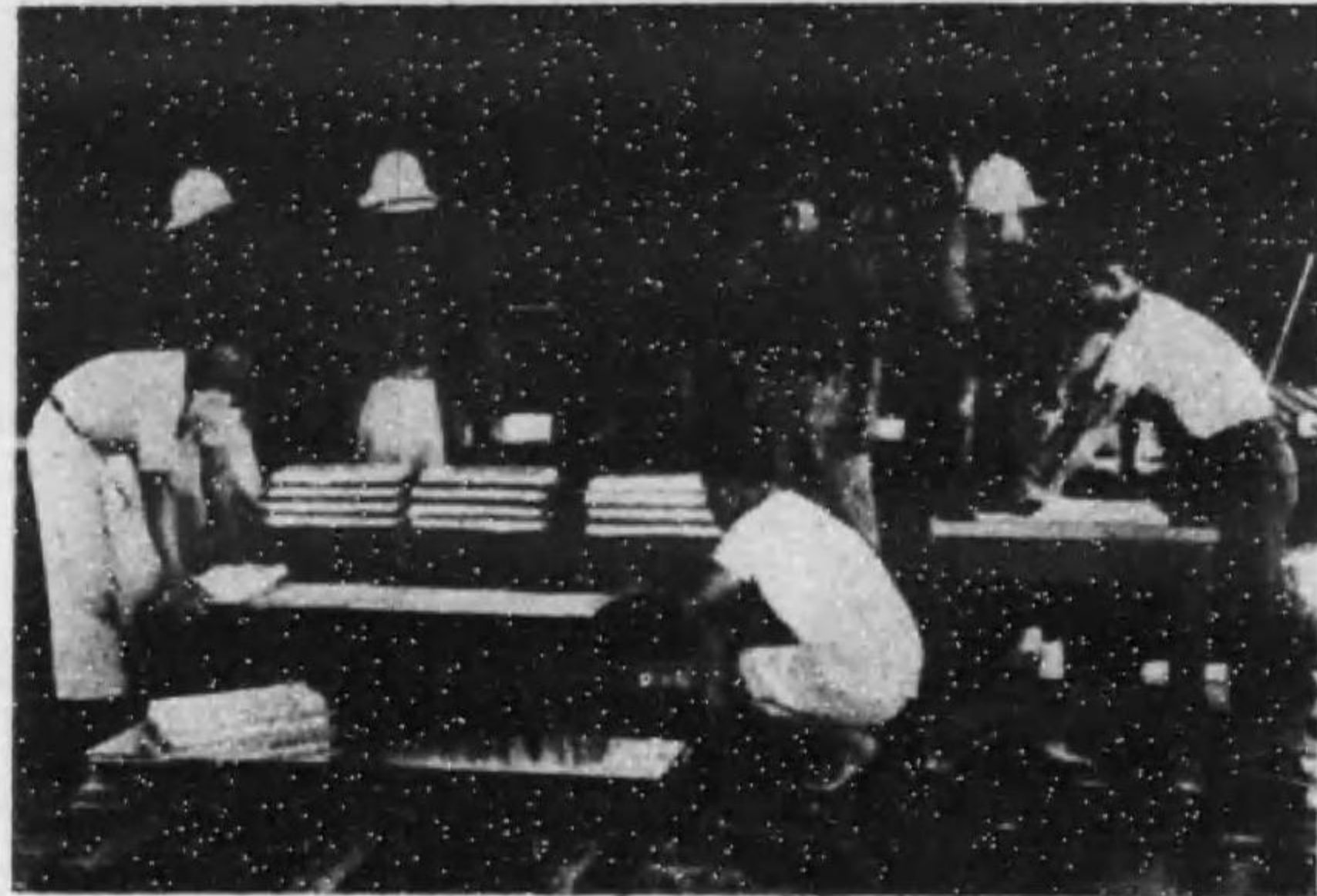
前述の如く播種より遅くも滿六年、即ち七年目よりは採收  
期に入るものであるが、さて樹命は何十年か、將亦採收可能  
年限は何年かといふ事に就き、經營者として又放資家として  
大なる考量を拂はなければならぬ。  
切付は普通六年木七年木より始めるが、樹幹の生長と共に  
ゴム液產出量は遞増し行くものであるが、嚴密に言へば、地  
味地勢雨量氣温等の外的條件、樹種、種苗、手入、切付法  
の如何に依つて、多少の相違を來すものである。さり乍ら、  
從來の經驗に依り大體の標準は既に今日では定まつて居る。  
斯界權威者であるカムミンダラ氏が、舊臘新嘉坡に於ける馬

最大年産五百封度

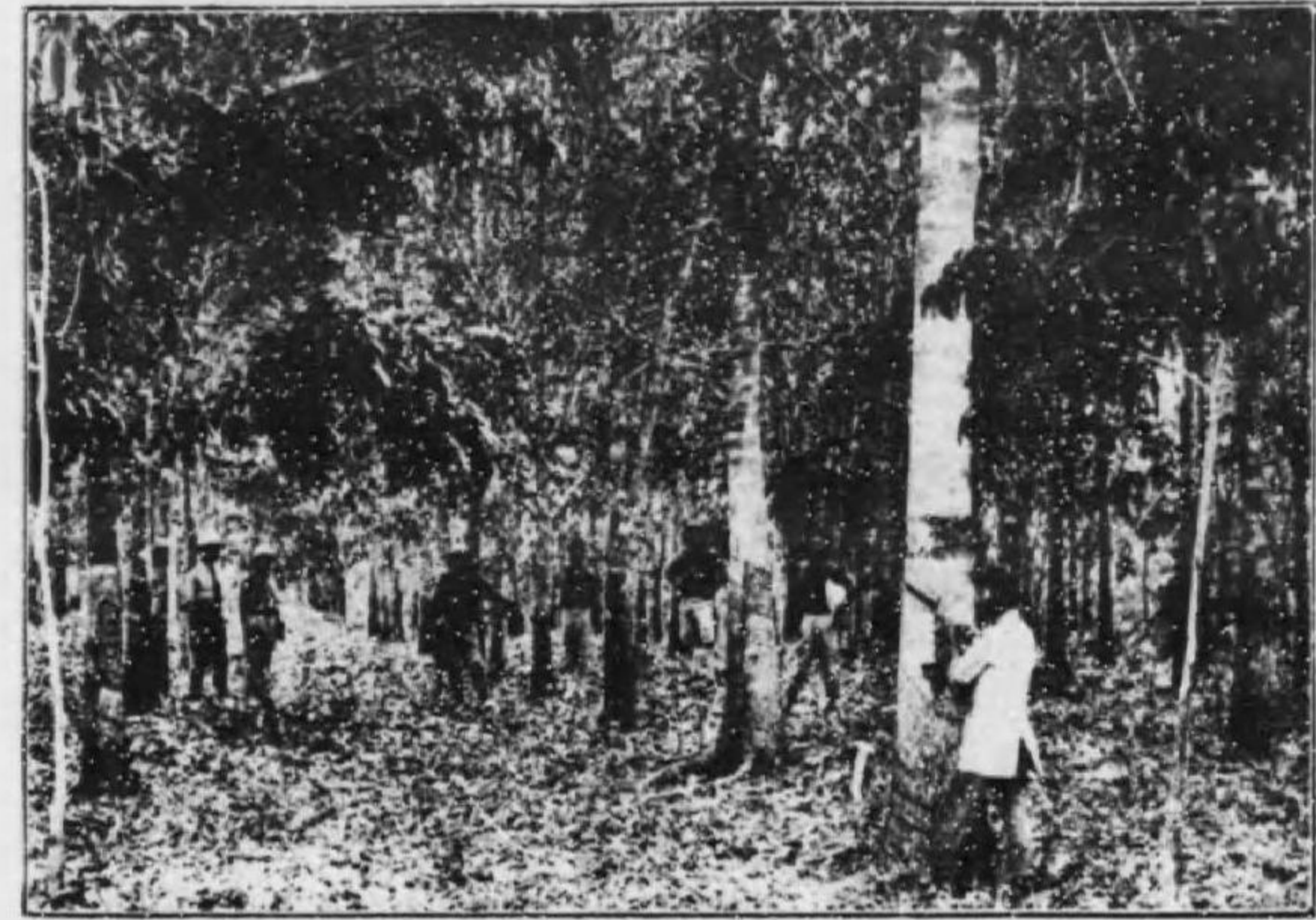


筆者奥村幸二郎

ゴム凝固工場



十四年林



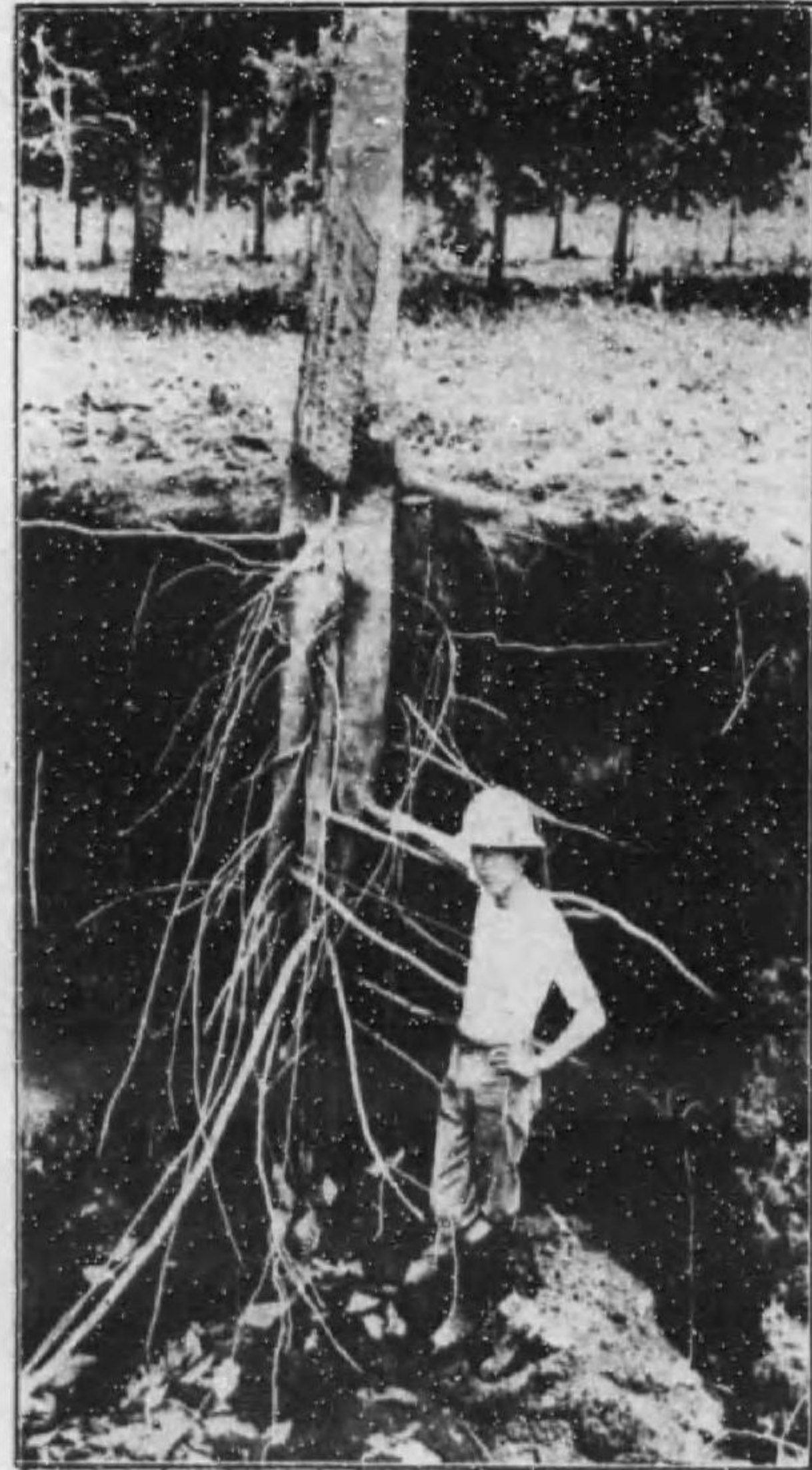
南洋方面に繁殖したるゴムの樹



ラサンゴムに於ては獲るたし人喰虎



A B C D  
果 同 果  
E 葉 殼 實  
(マツチ)



ゴムの直根

ゴム精製場



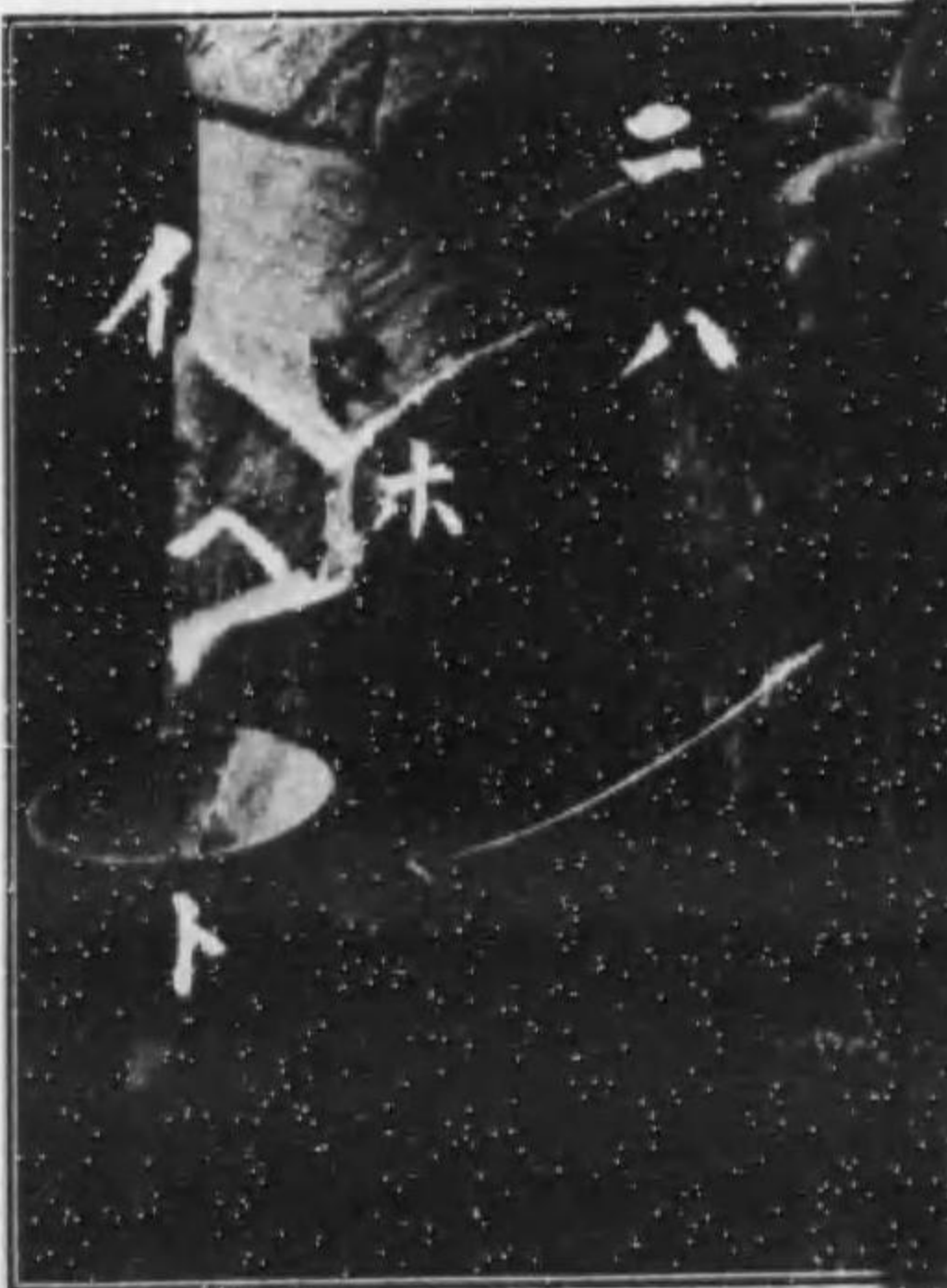
(ボネオ野村工場)

採取ゴム液を工場へ搬入の景



V字型一段切付

イロハ、ハに沿ひ樹皮に掻傷を附せば  
乳液滲出ホへを経てコツプに流込む



來栽培協會席上發表に依れば、地味好良、管理最善の良園にては、大略左の通りである。

(第六表)

樹 齡	一英加産額乾燥ゴム
滿五年木	一〇〇封度
滿六年木	二〇〇
滿七年木	三〇〇
滿八年木	三五〇
滿九年木	四〇〇
滿十年木	四五〇
滿十一年木	五〇〇

こされぎ三千、五千、一萬英加等護謨園なるものは同一園内ミても面積は廣漠ゆえ谷もあれば斜面もあり、全部通じて地味均一なるものでない故、場所により多少甲乙がある。馬來半島邦人栽培家の内に「一日一英加一封度」といふ言葉がある。之は一年一英加三百六十五封度産出といふ意味で、九年林十年林の産量を言ひ表したもので、四百五十封度五百封度産出といつた處で實際なれば雨天もあれば祭日もあつて休採日ある事ゆゑ、安全なる見方すれば、右表より二割方も内に見れば確實であらう。

英領馬來では右の通りだが、蘭印政府の調査に依れば  
(第七表) 蘭領一英加當り産出量

年 次	スマトラ一英加當り	爪哇一英加當り
一九二三	三三七封度	三三七封度
一九二四	三二六	三三八
一九二五	三二三	三四六

又和蘭アムステルダム會社の最近營業報告に依れば、一九二四年實蹟左の通り

(第八表)

	採牧面積	每一英加産量
スマトラ園	二九、二九九英加	三四七封度
爪哇園	三、九五五	三四七・弱
計	三三、二五四	平均 三四七

以上の通りであるから、馬來邦人栽培家の通語である、一日一英加一封度、即ち年産三百六十五封度は、當らずに難遠からずである、故に南洋通じて年産五百封度なごといふのは極小部分であらう。

少し古き統計ではあるが、今日の如く豊産樹種の撰擇、切付法の改良等八簽敷くない時代、斯業者が營利一方で、生産制限法杯夢想せない折の世界の栽培護謨面積及産額は左の通りである。之れに依り換算すれば英加産額及其遞増率は次の如く現はれる。

(第九表)

西曆	明治	採收面積	產出高	一英加 封度 當額 の増率
一九一〇	四	廿九萬四千	一萬四千四百噸	二〇元
一九一一	元	五十萬六千	二萬八千五百噸	二六元
一九一二	二	六十八萬七千	四萬七千六百噸	一〇元
一九一三	三	八十六萬一千	七萬一千三百噸	一〇元
一九一四	四	百十二萬二千	十萬七千八百噸	一〇元
一九一五	五	百五十萬五千	十五萬三千六百噸	一〇元
一九一六	六	百八十一萬七千	廿一萬三千噸	二〇元
一九一七	七	二百二萬一千	廿五萬五千九百噸	二〇元
一九一八	八	二百八十八萬二千	廿八萬五千三百噸	二〇元
一九一九	八			二〇元

右に依れば一九一一年以來八年間に一英加産額百九封度が二百九十三封度即ち二倍六九に増進してゐる。之れ樹齡増進に依つて産量増加したるものであるが、最初の五ヶ年では、一のもの九割七分方増進し、最終の五ヶ年では一〇九七が二〇六九であるから、其増加割合は三割七分に過ぎない。之れに依れば英加當り産額は樹齡増加に伴ひ増産すれど、樹齡増加に正比例するものでなく、増産率は漸次遞減するといふ事になる。又實地に就て見るも樹齡増進と共に樹枝發育擴張する故、開伐の必要もあれば病虫害害の爲め枯損もあり各樹の産額は増進すれど、英加産量は其割合に増進せない譯である。

の不況期を切抜けたので、某園の如きは彼の當時とても普通金利位の利潤を上げて居つた。

倫敦シメントンシンクレヤ會社が、英國和蘭諸會社多數につき調査せし、生産原價次の通りである

(第十表)

地方	會社數	一九二一—三	一九二二—四
在馬來	百四十社	三十一仙	卅四仙六
在蘭領	三十社	三十二仙九	卅二仙六
錫蘭	二十八社	廿七仙一	卅二仙二

右はゴム園直接生産費と本社費を合算したもので算出したので償却費は除外してある下欄の方の高きは限産令に依り産出數量が減少したからである故に、蘭領の方には増減が少い、之に依ると邦人園の方が幾分好成绩である。今日では勞銀騰貴の爲め、若干昂上した様だが生産原價一割五分乃至二割見當も見込めば充分であらう、即ち一封度四十仙見當であらうと思ふ

### 栽培業の利潤

精細なる經費支出表を省略し一般讀者の爲め概記せば採收期のゴム園一英加投資額は新嘉坡銀四百弗(約五百圓)である、英加産量年額三百五十封度せば、生産原價四十仙故百四十弗なる、依つて左の通り賣價を假想して利益割合を一

### 生産原價 All in cost

ゴム園經營に要する費用を分類せば、植林及築設に關する開墾費建物、機械等の固定資産、採收製品販賣管理に要する經常費に二大別する。

經常費にても當初林園育成中は固定資産に組入れられ、愈採收期に入れば其一部分が生産費となる。一園に雖全部揃つて採收期に入るには限られぬ、或部分は尙育成中の處も出来る。

嚴密に云へば育成中に直接關係する社員諸費用、手入諸費は固定資産に組入れ、採收製品販賣に要する諸費は生産費に屬し、而してゴム園支配人、會計、衛生諸費等全園の管理費に屬するものは、育成林、採收林面積の比例に準じて按分し固定資産或は生産費に配當すべきものである。尙本社費或は償却費杯も其性質に應じ、夫々配當すべきであらう。

さて馬來に於ける邦人園産出の生産原價は、何程であらうか、各社の會計法及其營業報告書方式が區々である故、一律に算出する事は出来ぬが、數年前不況期中の最緊張時に、某園では一封度十八九仙で仕上げて居つた、之が最低記録で普通は三十仙内外であつた故、邦人各社共最不況期に雖、大なる損失を計上したものはなく、無配當を繼續したのみで、彼

覽に供する

(第十一表) 年産三百五十封度林、週利表

場合	賣上金	利益金	一英加 對する 利潤
六十仙	二一〇〇〇	七〇〇〇	一割七五
七十五仙	二六二五〇	一二二五〇	三割〇六
一弗	三五〇〇〇	二一〇〇〇	五割二五
一弗廿五仙	四三七五〇	二九七五〇	七割四四
一弗五十仙	五二五〇〇	三八五〇〇	九割六二
一弗七十五仙	六一二五〇	四七二五〇	十一割八

右の次第で原價四十仙の品を八九十仙殊に昨年末の如きは一弗八十仙に賣つたのである、原價の二倍以上四倍半にも賣れて居る、誠に之れ程結構な商賣はない、暴利ださ米國人の騒ぐも無理はないが、さりさて此計算は一英加當りの計算で何處でも全園採收林のみではない、育成林も抱へて居ればゴム園償却費も見込まねばならぬから、株主配當率となれば、此利廻りよりは餘程減少する。併し乍ら内地で金を貸しても八朱や一割になる世の中に、酷暑炎熱の異境へ放資ししかも數年間の苦境に沈淪し、漸く曙光に接したのだから、他業より少しは有利であつても構はないものと思ふ。

又七朱や八朱の普通利廻りであるならば、身命財産の危険を冒して、誰が事業を起すか、此點も深く考慮しなければならぬ

そこで近き將來のゴム飢饉を洞察した英人は、斯業の前途益有利なるを認め、開墾に着手し新に植林をなすより近しく採收期に入るゴム園を買収し、巨利を獲得せんを頻りにゴム園を買集つて居る、今日迄に邦人園も随分澤山譲渡した、六千英加以上の大園もある、此總面積植付済二萬六千英加未植地三千二百餘英加で實に其代金貳千貳參百萬圓に達してゐる。

最近商談の纏つたのは一英加千五拾弗で決つた相である、故に從來諸會社の固定資産實支出約四百弗に對し、今日では妙くも二倍半位の實價があるのであるから林業収入の利益よりは、固定資産價值自然増加の方が、非常に尠大なのである。ストリートタイムス紙上に於て、最良園ならば一英加三千弗に買つても採算がされるを、詳細なる數字を發表した専門家がある、何れにしても、ゴム園其物の價值は漸騰しつゝあるのは事實である。

樹命に就ては、南米より移植の親樹が今尙新嘉坡植物園に

(第十二表) 世界果年産額表 (英、ラバー、ワイルド、ボヂシヨン誌)

西曆年號	栽培ゴムの産額	ブラジル産	其他野生	合計	前年に比し増加率	世界總産額に對する栽培ゴムの割合
一九〇〇	明治卅三	四萬千十噸	萬噸	五萬三九〇噸	〇	一萬四十分の一
一九〇五	卅八	二、六七五〇	二、七一一六	六、二一四五	一五、三	一萬分の二十三
一九一〇	四十三	三、五〇〇〇	二、七〇〇〇	七、〇五〇〇	一三、四	千分の百十六
		四、〇八〇〇	二、一五〇〇			

於て、爵峇ミ茂つてゐるので五十年說百年說もある次第であるが、採收可能年限に就ては此親樹が現在でも採收可能ゆゑ最少年限五十年は保證し得るのである。(寫眞參照)

### 護謨の産額

現在世界年産額は約五十萬噸に達し、併かも供給不足を難じ、近く護謨飢饉襲來が絶叫されてゐる。暫く之が累年産額表に就て研究せんに一九二四年の總産額四十二萬一千餘噸の内栽培護謨は實に其百分の九十三即ち卅九萬千六百噸を占めてゐるのであるが、之れも顧みれば明治卅三年には新嘉坡より始めて四噸の栽培護謨が輸出せられ、倫敦市場に現はれたのが端緒で、爾來廿五年間に此の如き、驚嘆すべき大發展を遂げたのである。

廿五年間に約十萬倍の激増實に驚くべきではあるが、之れでも今日では尙護謨不足の聲を聞くのである。

一九一五	大正	四	十萬七千八百噸	三、七二二〇	一、三六一五	二倍二五〇	千分の六百八十
一九一六	五	十五萬二千六百噸	三、六五〇〇	一、二四四八	二〇、一五九八	二七、〇	千分の七百五十七
一九一七	六	廿一萬三千噸	三、九三七〇	一、三二五八	二六、五六九八	三一、〇	千分の八百二十九
一九一八	七	廿五萬五千九百噸	三、〇七〇〇	九九二九	二九、六五七九	一一、七	千分の八百三十六
一九一九	八	廿八萬五千二百噸	三、四二八五	七三五〇	三二、六八六〇	一〇、二	千分の八百五十一
一九二〇	九	卅萬四千八百噸	三、〇七九〇	八一二五	三四、三七三一	五、一	千分の八百八十七
一九二一	十	卅七萬千二百噸	一、九八三七	二八九〇	二九、三九六〇	減一四、四	千分の九百二十三
一九二二	十一	卅五萬四千九百噸	二、一七五五	三二〇五	三七、九九二〇	二九、二	千分の九百三十三
一九二三	十二	卅八萬四千七百噸	二、二五八〇	五四二〇	四一、二七七一	八、三	千分の九百三十二
一九二四	十三	卅九萬千六百噸	二、三五一四	六〇九六	四二、一二一七	二、一	千分の九百三十

世界不況期の未だ脱會せざる折柄、獨り斯業者のみが世人の羨視を蒙つてゐるが、之れにて決して順境のみを経て此幸運に際會したのではない、實は過去數年間人知れぬ窮境難關を耐へ忍び、漸く今日の黎明期を迎へた譯合なのである。

### 斯業發達の經路市價の經過

一八七五年倫敦より印度錫蘭島へ移植されたのが斯業紀元第一年で明治卅三年(一九〇〇年)新嘉坡より栽培護謨四噸輸出されたのが世界的商品としての端緒である。此以前は倫敦市場に於ては、南米産パラ護謨が標準建物であつて、明治

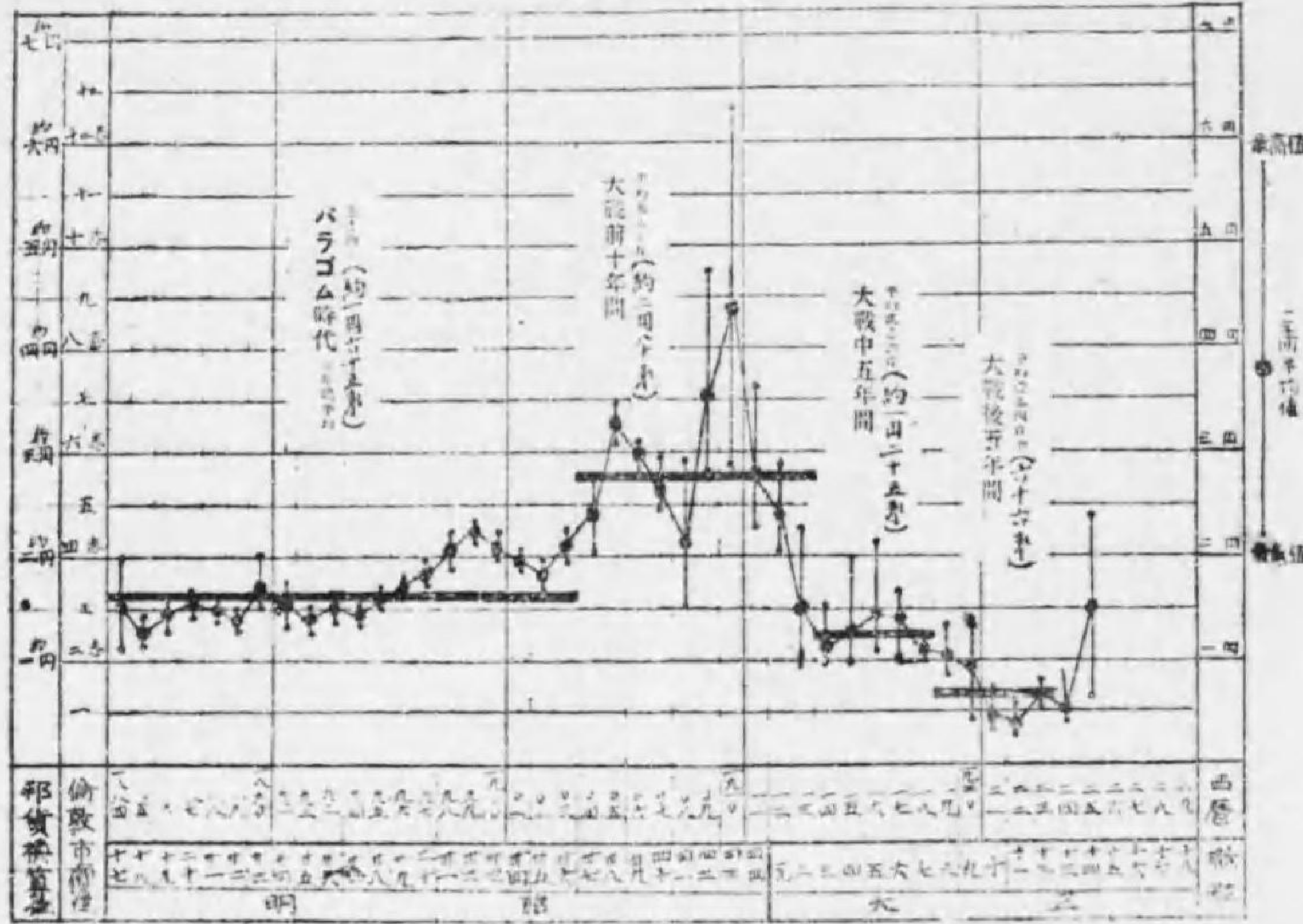
十七年より明治卅六年に至る廿年間、此パラ護謨時代には時に多少の騰落はあつたが廿年間平均相場は一付度三志四片邦貨約一圓六十錢内外であつたのだ。

明治卅八年(一九〇五年)は平均六志六片爾來漸落一九〇八年には平均四志に下つた。此四ヶ年の總平均は五志三片邦貨約貳圓五拾錢である。

其翌年より暴騰更に翌々年即明治四十三年(一九一〇年)に至り狂騰し、遂に十三志となり邦貨六圓廿四錢の記録を造つたのである。

此年には何故此く破天荒の暴騰をなしたかといふに、米國に於て自動車流行し始め、タイヤ需要激増の結果需給均衡を

四十年間倫敦相場及平均表



失した爲で、從て馬來半島の斯界は狂熱點に達し、廿割卅割の配當をなした會社が到る處に出現し、延いて倫敦市場の護謨株賣買を旺盛沸騰せしめた。

元來英國に於け、護謨會社株式は一株額面二志乃至一磅が普通で我國の一圓乃至十圓券に當り零碎の資金を集めて居るのが多い。上海に於けるも亦同じで、一弗株が多々あるのである。從つて株式散布方面は放資家は勿論、我貯蓄債券の様に薄資階級の人へも行渡つて居る。

此時に當り十割卅割の高配當をなしたので、株價の狂騰は勿論續々新會社濫出し、南洋方面へ事業を開始したので、馬來半島千古の鬱林は續々伐倒開墾され、次第に植付面積増し遂に第九表に示すが如く採收面積も累年激増産額も逐増し來たのである。

其後大正三年歐洲大戰が勃發した、丁度此年には彼の最高潮時代を閉じた新國が續々採收期に入り來り産額激増し初めたが、戦用品、自動車需要も激増した爲め需給稍均衡を保ち、市價は多少低落して居つたが、大戦中五ヶ年間は平均二志六片我一圓廿錢内外であつた。

されど大戰中、世界各國の産業界は戦用資材の製造供給並に之が輸送の爲、有史以來未層有の大繁榮を來たし、此等關

係者の利益も亦莫大なものであつたが、獨り此間に處し斯業のみ開戦以來市價漸落、從て利潤遞減し來り、八朱一割の配當の出来る會社が好成绩の方であつた。

尙此上戦後六年間は市價益低落し來り、各會社共配當は愚か、無配當缺損を發表したのが多かつた。

之が原因を考ふるに一九一〇年最高潮時の新國は何れも十三年林の多産饒出の時代に這入つた處へ世界的不況を蒙り需給均衡を失し、滞貨益増加し大正十一年には最低價となつた。其相場騰落の經過表左の通りである。

(第十三表)

年次	倫敦相場一封度		邦貨換算	
	最高	最低	最高	最低
西曆 一九〇九年	志片 九、〇三	志片 五、〇三	圓錢 四、四四	圓錢 二、四八
西曆 一九一〇年	志片 一三、〇〇	志片 五、〇三	圓錢 六、三三	圓錢 二、五三
西曆 一九一一年	志片 八、〇〇	志片 四、〇三	圓錢 三、八四	圓錢 二、〇四
西曆 一九一二年	志片 五、〇六	志片 三、〇九	圓錢 二、六四	圓錢 一、八〇
西曆 一九一三年	志片 四、〇六	志片 一、〇九	圓錢 二、一六	圓錢 〇、八四
西曆 一九一四年	志片 三、〇〇	志片 一、〇〇	圓錢 一、四四	圓錢 〇、六六

西曆	年次	最高	最低	最高	最低
一九一五年	四年	四、〇〇	二、〇三	一、九三	一、八八
一九一六年	五年	四、〇九	二、〇六	二、一六	一、九〇
一九一七年	六年	三、〇九	二、〇六	一、八〇	一、一〇
一九一八年	七年	二、〇六	一、〇一	一、一〇	一、〇〇
一九一九年	八年	二、〇九	一、〇九	一、三三	〇、八四
一九二〇年	九年	二、〇八	〇、〇九	一、二六	〇、六六
一九二一年	十年	一、〇三	〇、〇六	〇、〇六	〇、三三
一九二二年	十一年	一、〇二	〇、〇六	〇、〇六	〇、三三
一九二三年	十二年	一、〇六	一、〇一	〇、七三	〇、三三
一九二四年	十三年	一、〇八	〇、〇九	〇、八〇	〇、三三
一九二五年	十四年	四、〇八	一、〇三	二、二四	〇、三三

英國貨幣法は十進法でなく錯雑せる故、假りに一片を我四錢と換算し下欄を設けて、騰落率直覺の參考に供する。之に依り如何に騰落値幅の甚大なるかを會得さるれと思ふ。



由是觀之、明治四十二、三年頃の高潮時代を最高とし漸落の歩調を辿り、大正十一年は最安値を示し一封度廿七錢といふ低價を示して居る。此時代斯業者の苦境は言語に絶するものありて極力生産費の節約低下を計り又品種採収法の改良研究を行ひ此難境を切り抜けるべく努力したのであつたが、滯貨益増大し恢復の曙光さへ認め得なかつた、此間約五年間である。

此様の状態なりし故、大正九年(一九二〇年)以は勿論、否瀕りて大戦中より歐洲資本の東移せし事勢なき上、此困難不利なるゴム園開墾の爲資本を投ずるが如き放資家は尠なかつたのである。殊に將來のゴム不足を洞察し斯業將來の好況なるを着眼して、ゴム園の開墾擴張をなした畑園の上は稀であつたから、此處約五年間は、其植付面積は殆んど増加してゐない。

之に反し文明生活に絶対必需のゴム原料の低價は此間幾多の用途を發見し一般商品の不況に拘らず需要は逐年累増し來つた。

此難局を打破せんが爲め、幾多の研究會合の末、英領及蘭領内英系斯業者と邦人栽培業者も加はりて大正九年(一九二〇年)十月より四分一生産制限を實行した、之をボランタリ一、レストリックションと稱した。此當時に於ける英米兩國に於ける滯貨は約十二萬噸と稱せられてゐた。

されど、此自衛的限産は實行されたが、蘭領内他の白人園及土人ゴム園は、之に關せず依然減産せざるのみならず、市價の恢復に乗じ産額増加の傾向があつたので、滯貨は却て漸増の趨勢となり市價益低落し此期間新嘉坡市價は三四十仙臺を低迷し、大正十一年(一九二二年)末英米滯貨二十五萬四千三百噸(米國十七萬四千八百噸倫敦七萬九千五百噸)といふ、大滯貨存在し、斯業者の苦難其極に達し到底此局面を展開打破する由もなかつたのである。

### 生産制限令

窮すれば通すかや、英國植民地の重要産業である斯業の此状態に鑑み、同國朝野も舉て之が對策を案じ遂にゴム限産委員任命され、ステイブソン氏案出の限産令は大正十一年十月十三日(一九二二年)閣議を経て植民大臣之を公表し同年十一月一日より英領内に實施される事になつた。

其要旨は、

- 一、各園は現在標準生産額の六割を輸出し得。
- 一、十一月より三ヶ月間を一期とし、此期間倫敦市價一封度平均一志三片(新嘉坡約六十二仙半邦貨約七十一錢)を維持せざるに於ては、次の期間は更に其額を五分低下す。
- 一、尙次の期間維持せざるに於て漸次限産額を五分宛低下す。

一、右標準市價を維持するに於ては、一期間五分宛を増加し、平均市價一志六片以上を維持するに於ては、特に一割増加を許容す。

原則は右の通りで、此範圍内に於ては輸出税一封度銀二仙であるが、此法令に反し範圍外輸出は認許さるべき制度なれども、此際には全輸出量に對し、殆んど禁止的重税を賦課さるゝ規定なるを以て爾來三年間、此限産令は、英領内に於て勵行され、大正十一年末英米滯貨二十五萬四千噸餘も、十三年末には八萬四千五百噸餘(倫敦二萬九千七百五十九噸、米國五萬四千八百噸)となり差引十六萬九千八百噸の大減退を見るに至つた。其限産實施の經過左の如し。

(第十四表)

年次	自十一月 至一月	自二月 至四月	自五月 至七月	自八月 至十月
一九二二一三	六割	六割	六割五分	六割
一九二二三四	六割	六割	六割	五割五分
一九二二四五	五割	五割五分	六割五分	七割五分
一九二二五六	八割五分	十割	十割	

最近馬來半島生産標準量二十六萬噸、錫蘭六萬六千噸英領合計三十二萬六千噸なれば右の生産制限令に依り幾何の輸出制限が實行されたか算出するに實施以來昨年十月迄滿三ヶ年に亘り總平均六割〇四なれば、生産標準量の三割九六が、輸出抑壓されたもので、ストリート・タイムスは左表の如く廿四萬二百七十三噸なりと報じてゐる。

(第十五表)

地方	英領産品 稅關輸出申告數	領内生産標準量 即ち輸出可能量
馬來諸港	五三〇、七一八噸	七〇二、〇〇〇噸
錫蘭	一一九、一三二噸	一八八、一二三噸
合計	六四九、八五〇噸	八八九、一二三噸

英領産品輸出實數六十四萬九千餘噸ではあるが、同期間に於ける査定生産標準量は八十九萬百餘噸である。されば此差額廿四萬噸餘が、滯貨一掃の眞因となつたのである。

### 最近暴騰の原因

(Fーズ案成立—中歐戰敗國の復興)

大戦後世界を風靡したる大不況は、近來漸く恢復の緒に就きたるも、佛國は財政問題に伊太利は内政外交問題に、大英國は内争及罷業問題に悩まされ、日本支那も亦不況の域を脱する能はざるの現況である。

米國は大戦中獲得せる巨資を、不況期に對する對策宜敷を得たる結果、其創獲他に比し輕易なる上、近來數年間農産物の豊作は獨り同國民の懷裡を暖かにし、産業界頓に活躍の氣を帯び、延て斯業に關係ある自動車工業發展しゴムの需要逐年増加して來た。

されど中歐戰敗國が、戦後徹底的疲弊を来たしたる爲め、先づ戰敗諸國の經濟回復あるに非ざれば、延て世界經濟安定の緒に就く能はざるに依り、大正十三年九月聯合各國はドーズ案を成立せしめ、獨逸賠償金問題を解決せしむるため、獨逸復興の財政經濟的援助に着手した。

元來大戰前迄は世界的諸商品の需給は、大體に於て稍平均されて居つたもので、甲品の需要多くして價格騰貴せば甲業は有利として同業の興起供給増加の爲め、價格低落し來り乙農産品の供給過剰にして市價低落せば、同業は不利なりとして耕作減少、市價騰貴し來りて營利採算標準線へ復源すべき傾向は、經濟上の原則である。

然るに大戰なるや、戦用資材の爲各種軍需品の大量需要を喚起し、工業農業各方面に亘り俄然其生産設備及產出規模を増大擴張せしめた。而して大戰終末を告ぐるや、戰敗諸國の徹底的疲弊と勞農露國との出現は、此等諸國民を驅つて世界通商圏外に逸せしめたのに其生産規模は未だ其儘に取り残されてある。

世界通商圏内に在る住民を約十五六億人と推定するは敢て大過なきものと信ず。果して然らば此内獨逸露及土耳其並にバルカン諸邦の住民約四億人即ち通商圏住民の約四分の一が此圏外に逸出したので、従來需給稍平衡を保つて居つた、世界的商品の生産消費今尙均衡を失し、販路梗塞市價低落し諸

産業何れも悲況に沈淪して居るのは無理からぬ事である。此秋に當りドーズ案成立、獨逸産業の復興は獨り同國のみならず、中歐諸國經濟界の蘇生回復の藥餌となり、延て諸原料の需要を喚起し輸送界も又活躍の機運に向つて來てゐる様である。

ゴムの滞貨も生産制限令の効果と相待ち、在荷逐年激減し大正十四年九月末には三萬八千五百噸(米國三萬三千噸、倫敦五千四百噸)に激減し、十一月末には倫敦在荷三千七百九十九噸と未曾有の減少を來したが、今春來漸増三月末には倫敦一萬二千七百噸、米國六萬一千八百噸、合計七萬四千五百噸となつて來た。從て十四年四月以來市價漸騰し遂に七月中旬には新嘉坡市場は一弗七十六仙(四志六片半英、一弗十七仙米)と騰進し、八月暴落一弗十一仙(三志七片英、七十二仙米)となりしも、其後漸騰し十二月初旬には一弗八十二仙と奔騰し、其後限産率緩和ありたるに在荷稍増加したる爲め二月上旬に入り一弗十仙内外を保合ひ三月末には九十六仙に降つてゐる。

### 消費方面の研究

嘗て米國の巨豪カーネギー翁は「世界の將來はゴムの時代である」とし、現在の鐵時代に續いて來るべきはゴム時代なり

と道破した如く、近代に發達したるゴム工業は急激なる發展をなし、(ゴム製品は今や三萬餘種に用ひられ、人類生活に缺くべからざる必需品となつて居る)其用途は自動車タイヤを始めとし自轉車、人力車、汽車、汽船、造船造兵用は勿論、航空機、外套、靴、水管、醫療電氣用品、調帶、敷物、玩具等多種多様の方面に使用されてゐる。定に是れ文明必需品たる自然の歸趨を表示するものである。

### 世界消費の七割は米國其又八割は自動車タイヤ

斯界の權威ワイルド・ラバー・ボヂション誌發表、最近數年間の世界生産消費表は左の通りである。

過去世界生産消費表 (英、リキントン商會調)

年次	生産高	消費高	差引生産過不足
一九二〇	三四三、〇〇〇噸	三七四、〇〇〇噸	不足三一、〇〇〇噸
一九二一	二九三、九〇〇噸	三〇二、〇〇〇噸	不足九、〇〇〇噸
一九二二	三〇一、〇〇〇噸	三〇二、〇〇〇噸	不足一、〇〇〇噸
一九二三	三三九、〇〇〇噸	三九六、〇〇〇噸	不足一七、〇〇〇噸
一九二四	四一三、〇〇〇噸	四一四、〇〇〇噸	不足一、〇〇〇噸
一九二五	四二一、〇〇〇噸	四一九、〇〇〇噸	剩餘二、〇〇〇噸
一九二六	五一一、九〇〇噸	五一九、〇〇〇噸	不足三、一〇〇噸

而して此内米國は累年消費高の七割以上八割内外を使用して居る。

一九二六年度に對しては最近左の通りの豫想表を發表してゐる。

(第十七表)

國名	消費豫想額	世界消費に對し
米國	四十二萬噸	六割八分四厘強
佛蘭西	三萬九千噸	六分三厘強
獨逸	三萬九千噸	六分三厘強
英國	三萬五千噸	五分六厘強
カナダ	二萬一千噸	三分四厘強
日本	一萬六千噸	二分六厘強
伊太利	一萬三千噸	二分一厘強
其他	三萬一千噸	五分強
消費合計	六十一萬四千噸	十割

(第十八表)

國名	輸出額	世界産額に對する割合
英領馬來	三十萬噸	四割五分
同領錫蘭	六萬噸	九分一厘強
同領東印度	二十二萬噸	三割三分強

プラチル産 其他野生 (アフリカ等)	三萬二千噸 三萬六千噸 九千噸	四分八厘弱 五分四厘強 一分四厘弱
計	六十五萬七千噸	十割

さて米國一國のみが何故此く多額の消費をなし、殘餘列國合計が其半数にも達せざる状態であるや、之れ米國に於ける自動車使用の隆盛に基因するもので、其數量の莫大なるを知るに及むでは、何れも其巨額なるに一驚を喫するのである。

(第十九表)

米國自動車數 官憲登錄(米國ゴム協會發表)

年次	乗用	貨物用	計	前年に比し 増加數
一九一五末	二、三三、六六六	七、六六八	二、四四、三三四	
一九一〇末	八、二五、八五九	一、〇〇六、〇八一	九、二六、四六一	約六百七十八萬臺
一九一一年末	九、三六、九五五	一、一八、五三〇	一〇、四六、三九五	約六百七十三萬臺
一九一二年末	一〇、八六、二八	一、三五、七三五	一二、二二、〇一五	約六百七十七萬臺
一九一三年末	一二、四七、六〇八	一、六二、五九六	一四、一〇、二〇四	約六百八十五萬臺
一九一四末	一五、四〇、六四九	二、一三、三三三	一七、五三、九八二	約二百五十萬臺
一九一五末	一七、五〇、三八四	二、四四、五七九	一九、九四、九六三	約二百廿五萬臺

右の次第なれば一九二四年末人口一億一千二百七萬餘人に分配せば、米國人六人三分に對し自動車一臺を有する次第にて、此内分布最も多きはカリフォルニア州人口三百八十萬五千餘人に對し百十萬二百八十三臺にて、約三人に對し一臺

### 自動車

使はれる事となつてゐるのである。而して殘餘の重なる用途は長靴、靴踵、電氣絶縁材料、パイプ、飛行機、造船、舗道エポナイト、雨衣、玩具、ラヂオ用品等各種三萬種に亘り、ファイヤーストーン會社の如きはタイヤ年産六百六十二萬個の外ゴム靴年産七百五十萬足を越ゆるの盛況であり、又同國產出靴類は年産三億二千萬足ゴム踵は年産三億五千萬足を越ゆるのである。

前述の如くゴム自動車との關係は此く密接なるもの故、少し此間の事情を説述するは決して贅事ではあるまい。

元來米國程自動車の實用に供せられて居る處はない乗用、貨物、農耕、軍用の各方面に使用され、紳士も乗れば百姓も乗り、職工でも所有してゐるさういふ盛況である。之は道路設備の完全と富の程度も違ふからであるが、其販賣手段も奇抜であるから紹介しよう。

大量製産のフォード會社では、毎年何等かの改良を加へて年々新型を賣出して居る。新型が賣出された時分に舊型に乗つて人前に出るのは一寸恥かしい位のもので、同社販賣人は顧客に向ひ本年式は四百弗、手附として百弗後は二十五弗宛の月賦で一年掛ですまして勧誘する。又從來の古車は何程かで

の割合に當れば加州人否米國人全部が同時に自動車に乗じ走り得る實情である。又我國の如き架設に對し、緊縮方針を採れる電話局と異り、申込翌日輕易に架設通話し得る同國公衆電話機数は本番接續機合して其當時千五百萬百一機なれば自動車數の方尙二百五十餘萬多數さういふ奇現象にて、其隆盛の度を忖度し得る事と信ずる。

之が爲めには大量製産廉價主義を以て有名なるフォード自動車會社の如きは、昨年五月十九日一日の製出記録八千七百五十臺にして八時間労働一分間十八臺強の自動車製出せられ、尙此外大自動車會社約七十有餘もある。

従て之に要するタイヤ、チューブ等の數量も莫大にして、一九二三年には之が原料廿四萬四千噸、翌年には二十七萬九千噸消費され、輸入原料の約八割は此方面に消費される。

(第二十表)

自動車用品内譯 (米國ゴム協會訓)	數量	價格
一九二三年分		
タイヤ	四千五百廿六萬三千個	四億五千七百七十四千弗
チューブ	五千六百九十三萬三千個	七千四百六十六萬弗
貨車用中實タイヤ	九十二萬三千五百個	二千八百廿萬三千弗
	計	計五億六千廿三萬七千弗

要之世界産額の七割を消費する米國が其八割を自動車の爲めに費消する故世界産額の五割六分が米國でタイヤの爲めに

買入れて呉れる故、僅かの手附で新型が手に這入る。

富の程度の違ふ米國では個人の收入も我國の七八倍である四百弗は我國民の百圓位にしか當らぬ。しかも月賦の二十五弗は我六七圓の小遣錢にも過ぎぬ又維持費までも月十弗位である故、誰でも御手輕に買へるのである。(週拂もあり)

あちらでは勤め人の多くは郊外に住み、我國と習慣も違ふが、朝の出勤には夫婦相乗りで主人を勤め先へ送り歸途は細君自ら操縦して途中用達を果して歸り、又夕刻には主人を出迎に細君が出て來るさういふ有様で、少し氣の利いた連中は毎年新型が發賣されたら、前年分を賣放つて新車を乗廻して居る有様で又舊車を乗潰してから賣るよりは經濟的であるのだから、我國の様に五年も六年も同じ車を使つて居る人は稀らしい。

又大工場の門前、朝夕職工の出入する光景は實に盛大なもので、旅行者の一驚する程である。又夜分になれば彼等は十里も離れた郊外から家族同伴市中へ活動寫眞館へ見物に來て早い内に家に歸つて居る。或は數十哩遠方より自作の農産物を日々市場へ運び出す農夫もあるさういふ實況で今では贅澤物さには言へない、全く實用品さういふ有様である。されば大都市大通りの混雑時には自動車の行列が珠數繋ぎの狀景を呈し、紐育の盛り場リバーサイドは紋日には一分間九十乃至百十臺の割合に、又市俄古ミンガン・アベニュー橋は連日五萬八千

乃至六萬臺の自動車通過するまで計算されてゐる。  
 されど六人に一臺といふ次第である故米國に於ける自動車  
 数は既に飽和點に近づき今後は是れ以上増加せざるべしとの  
 懸念も起らぬではないが、米國富業者の見込では、加州の比  
 例迄に達するには尙二千萬臺の供給餘地あり、此外貨物車其  
 他世界各國に於ける擴張餘地ありて需要は無限であり、本年  
 度に於ける米國各社は總計五百萬臺價額にして三十億弗を製  
 出販賣するに豪語して居るから、新車に要するタイヤだけで  
 も随分澤山の原料が消費される。

### 運輸上の新傾向

#### 鐵道敷設の先驅は自働車 市街電車の強敵

廣漠無邊なる米國大陸は、鐵道の敷設に依つて續々開發  
 せられて居るが、大戰中の如きは各地産業の發展さまじく  
 貨物移動量激増したる爲め、縱横無盡に敷き廻はされた鐵  
 道網にても、到底其用を辨ぜず、何れの驛站にも貨物山積の  
 状態を呈したので、此時に際し貨物輸送目的の自働車會社  
 出し何れも良好の成績を示して居つた。  
 自働車は汽車と異り公道を走行し得る且三噸五噸の小量  
 車を隨時頻出し得るの特色ある上、物資を運ぶに原産地より  
 目的工場倉庫又は埠頭迄、途中積積卸或は驛站に於ける列

車繼替等に要する手數及時間空費がないので、非常に便利で  
 もあり且場所距離に依つては、汽車便よりは速達する。加之  
 賃率も鐵道に比し低廉であり且驛站に於ける積卸賃及配達賃  
 が節約出来るのである。現に我國でも歐米より神戸迄の船賃  
 より其原料の神戸港より大阪の工場迄の運賃の方が高く掛か  
 る様な事情にあるので、此配達賃引取賃節約は工場經營者に  
 採りては大問題である。  
 米國に於ける鐵道運賃は、普通貨物運賃百哩百封度一弗  
 十五仙であるが、紐育費府間の貨物自動車は、百封度九十仙  
 大量なれば八十仙である。紐育費府間は實距離百哩ゆへ、鐵  
 道輸送に比し非常に低廉なるのみならず、尙前述の附屬雜  
 費が節約されるのであるから、今後運輸上に與ふる影響は大  
 なるものがある。

又新開地方或は山間僻地發展の爲め、鐵道線を敷設せんこ  
 せば、建設費に多大の資金を固定せしむるのみならず、乗客  
 貨物少量なるに拘はらず列車を頻出させれば採算みれず、一  
 日一二回の發着なれば不便不利である。故に此の様な地方に  
 對して自動車輸送線を開設せば、乗客なれば四五人、貨物二  
 三噸もあれば隨時一車を走行せしめ得る特點がある。其上鐵  
 道の如く建設資金の固定を要せずして最も輕易に此利便を亨  
 有し得る。既に我邦にても津々浦々の僻地迄乗合自動車業が  
 非常に發達して居るではないか。

又最近歸朝者の談に依れば、米國加州の大都市では市内電  
 車の乗客が非常に尠ない、之に反し其街路には自動車が珠數  
 繋ぎの様に走つて居る。

馬來、蘭領東印度、佛領印度支那方面にても此意味に於け  
 る自動車の利用實に盛大なるもので世界人の視聽に觸れぬス  
 マトラ、ボルネオ又は佛領東京邊りの僻地にても案外自動車  
 が其威力を發揮してなかく、需要も多いのである。  
 世界に於ける自動車分布は左の通りである。左表でも分る  
 通り將來南米各國支那、露西亞或は東歐諸國の輸送交通法が  
 漸次進歩變化して來るならば、自動車の需要は實に前途洋々  
 たるものであろう。従つて之に要するゴム需要は多々益々増  
 加する事であるに確信してゐる。

世界自動車分布數及人口比例表 (一九二四年末×印一九二三年)  
 (第廿一表)

國名	採用自動車數	人口	一車當り人口
米國	一七,五九一,九六二	一〇,三三九	六人
英本國	七,〇八三	四,四二四	五十七人
カナダ	六三,八七四	八七八	十四人
佛國	五五,〇〇〇	三,九四〇	六十九人
獨逸	二九,九九〇	五,九六五	二百七十二人
濠洲	一九,〇〇〇	五,四九九	二十八人
伊太利	五,〇〇〇	三,八八三	四百九人

支那	日本	印度	白耳義
10,101	15,000	5,000	9,700
40,000	1,300	1,900	760
三萬九千六百七十五人	八千八百九十六人	二千六百四十五人	七千四百九十七人

右表の合計二千三十八萬臺にして米國は世界自働車總數の約八割六  
 を占む。

### 古ゴムの再製—人造

#### 代用品の考慮

米國に於ける盛大なる自動車利用の爲め、多大のタイヤが  
 使用されるが、従つて之が廢物も亦巨額の數に達する。米國  
 當業者の調査に依れば、千七百五十萬臺の自動車が一年間約  
 四個宛のタイヤを使用する故、約七千萬個のタイヤを消費し  
 年々之れだけ廢物となる。此タイヤの價額二十四億五千萬弗  
 (邦貨約五十億圓)消費されるに計算されてゐる。  
 従つて年々多大の古タイヤが出来る。元來此等の古ゴムは  
 種々の工程を施して、更に第二の用途へ使用されるが、彈力

其他の點に於て大に劣る點ある故タイヤ其他の高等品には使用され難いが、中等品以下の方面には新ゴムに混用して充分間に合ふのである。

數年前の發表ではあるが三千六百萬個の古タイヤを處理するに二億六千萬封度即十一萬六千噸の再製ゴムが採出し得る。之を舗裝材料のタイヤ原料とすれば、幅五間道路を六千哩間舗裝する事が出来る。此等專門家が計算してゐる此くなれば主要道路の内歩道、車道がゴムに改裝され、漸次他へ及ぼす事となるであらう。此外、汽車、汽船客室内、ブラットフロム、屋内、街路にゴム敷物の使用割合増加し居り、米國大都市の橋梁には車輛通行の燥音を降雨日の自動車滑走の危険防止の爲め、床面をゴムに改裝したのが數多あり、其結果良好で他の材料に比し、經濟的である。

ゴム市價低廉の際は左程でもないが、過般の如き暴騰期に於ては、製造業者に採りては原料費節約の上よりも、此再製品使用率増加するのは、避くべからざる事である。一九二四年度米國に於ける再製ゴム製産高七萬六千七百七十二噸で、普通ゴム使用量の約二割二分に當つて居る。

然る處近著雜誌に依れば、再製に要する工程煩瑣であり、價格低廉ならざる故、製出品の保存能力方面より見て、再製ゴムを混用するも、經濟上案外利益でない云ふ事が書いてあつた、即ちタイヤ原料に三割方再製ゴムを混用するに、持

久力が二割五分減するに、故に信用を重んじ自社製品の品質を持久力を保證する世界的大會社が僅少な原料費節約の爲め品質を落して迄も再製ゴムを今より餘分に混用する筈はないと思ふ。結局再製ゴムは別途の方面へ其用途を擴張するのであらう。

又人造ゴム或は代用品發見に就ては、大戦中包圍を蒙りゴム缺乏を訴へたる獨逸が、苦辛の末人造ゴム及代用品を案出發見し實用したが、非常に高く掛り到底平時の商品となり得るものでないとの事だ。今日の時勢故將來人造ゴム出現の機到來するならんも、商品としての位地を保つべく果して大量且低廉に供給し得るであらうか。

生糸、樟腦、藍等の高價なる天産物に對しては、人造代用品現出し商品として獨特の地位を占め居れど、棉花、羊毛、米、麥、麻、鐵等の低廉なる天産物に對し、人造代用品が盛行した事は聞かないのである。ゴムも亦貴重高價の品種には屬せざる故、此點に關しては現在大なる考慮を拂ふ必要は尠いと思ふ。

### ゴムの投下資本及國別

從來各國は開墾期より採收期に入る迄約六七十年間に直接、間接費合して一英加四百圓乃至四百六七十圓見當で仕立上げ

て居るのが普通である。位地、地勢に依り多少の相違もあるが一流邦人園は白人園に比し、經營管理製造の諸點に亘り何等遜色はない。或點に就ては人種の特長を發揮して巧者に且經濟的に經營して居る。

之に反し支那人園は概して、白人園、邦人園に比し非科學的支那式に依り經營するを以て、一英加三百圓内外で仕立上げて居るといふ事である。

更らに土人園に至りては、自營自作で植附を開始し、使用人までも時には金錢給費に非ずして、物資給與をなす等の手段に依り造林し終るものもあれば、一英加二百圓見當であるが、金錢の實際支出は之れ以下である。

併し乍ら今後一流のゴム園を新開せんことを欲せば、南洋方面の近狀は物價及勞銀昂騰しあれば到底前掲の數字にては造林完成し得ず。恐らくは、一英加六百圓見當も要するのではなからうか。

現在ゴム園に對する投下資本合計は、米國商務省調査に依れば八億七千六百萬米金弗といふ事になつて居る。邦貨約十九億萬圓に該當する。尙國別表に依れば左の通り英國が其五割七分で、我國は四分八厘に當つて居る。米國は我國よりも下位で僅か三分七厘に過ぎぬ。

(第廿二表)  
投下資本國別表——一九二四年末(米國商務省調)

國別	米金弗	歩合
英國	五億五千萬弗	五七、六
和蘭	一億三千萬弗	一四、八
日	四千二百萬弗	四、八
佛蘭西	三千萬弗	三、四
米	三千二百萬弗	三、七
上	一千四百萬弗	一、六
海	一千萬弗	一、三
丁	一億一千二百萬弗	一二、八
其他	八億七千六百萬弗	
總計		

尙英國の勢力内に在るゴム園は左の通りで、南洋方面總植付面積の約四分の三を占めて居るのである。

(第廿三表)  
英國勢力範圍下にある護謨園 米、D. V. H. 氏調  
英領内植付面積 二、六六、〇〇〇 蘭領内英人所有園 三、六九、〇〇〇  
計英人勢力範圍内 三、三〇、〇〇〇英加  
南洋方面總植付面積四百廿九萬六千英加である。

### 將來の生産量

英領、蘭領南洋方面に於ける大規模のゴム園に就ては官憲栽培協會等を通じて、面積、樹齡及產出量は、年々蒐集登錄

されあるを以て近き將來に於ける産出量は、大凡推算し得るものである。

然るに各地に於ける土人自作の小ゴム園に至りては、英領内に於ては生産制限實施の爲稍正鵠なる數字判明すれども、蘭領スマトラ、ボルネオ内陸に於ける小ゴム園は、調査機關不備なる爲め、適確なる數字は今尙求むるに由なき状態である。

故に蘭領各地より輸出せらるゝ土人ゴム數量の税關報告に依り、將來の産出量を豫測する方法に依るの外はない。

(第廿四表)

年次	大正	輸出數量
一九一〇	八	一萬三千屯
一九一〇	九	一萬屯
一九一〇	十	六千屯
一九一〇	十一	二萬五千屯
一九一〇	十二	五萬三千屯
一九一〇	十三	八萬二千屯
一九一〇	十四	十三萬一千屯

右の如く、土人産ゴムは大正八、九年一萬三千噸以内なりしものが、昨十四年度には十三萬一千噸に激増して居る。

大正十年は市價低落の際なりし爲め如何に簡易生活の彼等までも經濟的採算をなし得ざりし爲め此く輸出數量激減されたるに激増して居る。之は市價暴騰の結果彼等の懐裡益服れ多産多儲、前後の辨もなく過度切付を行つて居るからである。

(第廿五表)

此様の次第なれば、市價低落の際には産額減少の傾向あるも市價高位の際には彼等を驅つて多産多儲産額益増進し、今日の市價繼續するに於ては、數年後には土人ゴム産額三十萬四十噸に激増せんと言く人もある。

昨年九月末筆者はボルネオ、バンジャルマシン上流に於て二十英加計りの六七十年林の土人園が、月百五十盾にて貸貸されてるのを目撃した。此園は十五呎位の密植なれど地味優良なれば英加年産三百封度は下らざる状態である。借主は和蘭人にて採收諸費總て借主持の契約の由である。されば切付法は二分の一なるも愛樹の念なき借主は苦力を使つて、出来るだけ多産、以て多利を獲得せんとするより年産六千封度以上産出すべく、時價より採算せば、一年間借主は尠くも四千盾(約四千圓)の利益を挙げ、地主たる土人は年收千八百盾を懐にし、鼓腹并舞優遊逸樂に此一年間を送つて居る事さ推察するが、さて跡に残つたゴム樹の將來は如何なるであらう過度の切付多産主義に禍せられ、採收可能樹命は極端に短縮せられるのである。此外隨所の土人園にては此好況に乘じ

(第廿五表)

年次	輸出數量	說明
一九一八 大正七	二、五二二	
一九一九	六、〇三六	
一九二〇	四、八六二	
一九二一	二、八七九	市價低落期
一九二二	九、六六七	十月迄安値
一九二三	一七、三八九	
一九二四	二二、四七二	
一九二五	一九、三三〇	九月より昂騰
八月末	十四	年末迄には尠く三萬噸に達するであらう。

右の如く大正七年より一高、一低し遂に十三年度には二萬二千餘噸となり、昨年は八月末迄に一萬九千三百餘噸を輸出したれば恐らく年末迄には三萬噸に達すべき趨勢であつた。

此表の示す如く市價の高低に従ひ、彼等の産額は伸縮自在に増減して居るのである。

此地視察の途上、新嘉坡に於ける一流の支那護謨商である萬寶號占坤支店長と船を共にした。同氏は多年在住し土人ゴム事情に通曉し善く談じ、ハ博士の報告と共に同地に關する豫備智識を與へて呉れたのである。

元來此地の土人ゴムは大戦前ゴム栽培の有利なるを聞知し自作農の傍ら家族又は村民の力を籍り、數英加或は二三十英

永遠の考慮もなく、過酷なる切付を行ひ居るを以て、將來此等の産出量は樹齡増進に伴ふ産出量遞増の定期は當て筈まらない、否採收可能年限も大に短縮され、樹齡増進につれ却て産出量遞減するには非ずやとさへ危ぶまれる。

昨秋渡南中、東印度政府當局者で且専門家ベークル・ハリリング博士の報告書を見、且同博士が各地土人ゴム調査出張中其材料を提供せられたるM兩氏にも親數會見するの好機を得たので、土人ゴム本場さもいふべきスマトラ東海岸チャムビー州に渡航して、彼等實情の一端を實視して來たので之を御紹介することにする。

### スマトラ、チャムビー州

占坤州はスマトラ東海岸南緯一度に在り、新嘉坡の正南三日航程に位し、面積四萬四千平方呎人口十六萬人、海岸は何れも數十哩間濕潤地で栽培に適せず、内陸に入るに従ひ土地肥沃地勢坦平であるが奥地はスマトラ脊梁山脈の爲山地となつて居る。州の中央にパタンハリ河蜿蜒々として流れ舟楫灌漑の便を與へ、占坤町は河口より十二時間航程湖航の處に在り戸數三四百、住民數千人に過ぎざるの處である。

されき此地附近及上流各地に於て、隨所に小ゴム園開拓され、昨年度に於ては尠くも三萬噸輸出の状態にある。

加の森林を開き植附をなし、爾來白人園の如く、育成手入に手を入れるではなく、自然に放置し、三年目位に一回下草を拂ひ、更に採收實施前に最後の除草を行ひたる後、採收を開始するこいふ全然原始的林業であつて、従つて彼等の園の原價は幾何なるや積算し得ざる次第で、恐らくは一英加貳百弗には達せざるべし。

植附法は白人園に倣へども、十五呎間隔、英加百九十本前後、處に依り更に密植十二三呎間隔の處もあり、奥地の一部にて規則的植附法に依らず、種子をバラ蒔き現在密林に生成しある處もある。

採收法は最初二分の一V字型なりしも、市價暴騰に伴れ何時しか過度切付を行ひ、僅々三四年間に地上四尺以下の樹皮酷使、今日の採收樹皮面は梯子を使用せざれば切附け得ざる處もあるに至つて居る。

勞銀は日傭又は數量制度でもなく、同地方の舊慣に従ひ、極端なる勞資二分主義にて、製產品賣價を金錢授受の際勞資立會ひ其面前に於て、地主其半を取り農夫總代其半を取り夫々配分する習慣である。

民情に就き述べれば同州及隣州パレムバン住民は慍悍にして意氣に富み、多年和蘭官憲をして統治上艱苦を嘗めしめ僅々廿五年前に漸く其統治に服したる程にて、一般に算數に達し暗算珠算に熟せる者甚だ多く、商才に長け、狡智の徒夥な

からず。又排外の氣に富み、爲めに支那商人は他州の如く此地方内陸に入り込み、商業、農業に従事し得ざる状態にて、他の馬來民族は全然異つてゐる。

### ハーリング博士の報告

ペーケル・ハーリング博士の報告書に據れば、占卑州の好況目凄しく市況旺盛にて、苦力は好收を重ねて購買力強く、物價暴騰の爲め駐在官吏は生活難に陥り増俸あるに至れり。

州内奥地には處々に土人園ありて、此好況に乗じ益々多産の傾向あるも、人口稀薄、苦力不足の爲め差當り産額激増はなし得ざるも相當の時價(新嘉坡六十仙毫)を維持するに於ては他方面より苦力を招致渡來せしめ得る状態である。

蘭領印度政府委嘱に依り行はれし州内ゴム樹調査は左の通である。(大正十一年、)

採收可能樹數	二百七十二萬三千七百九十八本
未採收樹數	千八百四十八萬五千六百十五本
合計	二千百廿萬九千四百十三本

尤も調査及交通機關不備の地故右は適確なる數字ではないが、土民申告に基き地方官に於て實査綜合の數である。

此當時苦力は例の勞資二分主義に依り市價一擔五十五盾、

(新嘉坡七十五仙見當)ならば、苦力の月收五十五盾(五十五圓)に達し、裕福の生活を立て且隣州より苦力の來集あり、前年度の一倍半即ち三萬噸の輸出可能なり。

市價之れ以上に上らば、苦力供給如何に依りては奥地新園採收の開始に依り巨額の輸出増進を見るに至らん。

ハ博士は一昨年七月九月に實査されたのである。當時市價が四十仙毫から五六十仙に擡頭した時代であるが、筆者の同地へ渡航したのは、昨年九月末で七月の最高一弗七十六仙の跡を受け一弗三十仙毫に下つて居つた時代である故、僅か一年間の相違ではあるが、市況及實情には雲泥の差が起つて居つたのである。

新嘉坡市場にては此状態に考へ土人ゴムは數年間に二十萬三十萬噸の産額に達せんま唱へる人もあつた。若し右記の二千百廿萬本のゴム樹が全部採收期に入らば百九十本植として約十一萬英加の植付面積となり、同地の地味及過度切附法に依れば英加三百五十封度は易々たる次第なれば、約十七萬餘噸の産出可能の計算となる。

果して然らば、大ゴム園將來の産額に更に土人ゴムの此大激増を加重すべき立場なるのである。

### チャムビーの實況

筆者は同地にてハーリング博士の案内をなし、多年ゴム園を經營せる、H氏に會見するの好機を得、且つ地主苦力等各方面を實視し得たので多大の資料を得た。

同地の好況は全く嘘の様な話である。

苦力の月收は百五十盾を下らず、中には二百盾(二百圓)に達し、小僧でも五六十盾の月收になつて居つた。従つて購買力旺盛で雜貨店、珈琲店、飲食店は何れも好況に惱殺され、道行く土人の美服新衣、金ピカの頸飾、耳飾、さては金製の首輪足輪、五盾一盾紙幣殊に小銀貨は拂底し、百盾兩換打歩五盾ま唱ふる次第で、大戦中の神戸湊川新開地の股賑繁華以上であつた。僅か十戸に満たざる寒村にも、タクシ！數臺を駐車し廿數隻のモーターボート川に泛び船賃一時間廿圓なるに苦力は家族連れにて之を賃し納涼に出掛け或は自動車にて夕のドライブをなす等、豪奢逸樂を恣にする様實に一驚に植する。

従つて物價騰貴平時に數倍し、中型靴一個赤帽賣東京驛より丸ビルの距離に金三圓を支拂つたのが普通相場で、棧橋赤帽は着船日には半日に十五六圓は樂に儲け、鼻垂れ小僧がMCCを口にし、苦力がウエストミンスターを常喫し、金の入齒に金鎖が幅を利かし、至る處家屋が新築されて居るが大正不足で困つて居り、借家にも夫々權利料がついてゐる等大戦中好況の我國の状態は少しも變らぬ。

ムゴ人土ービムヤチ



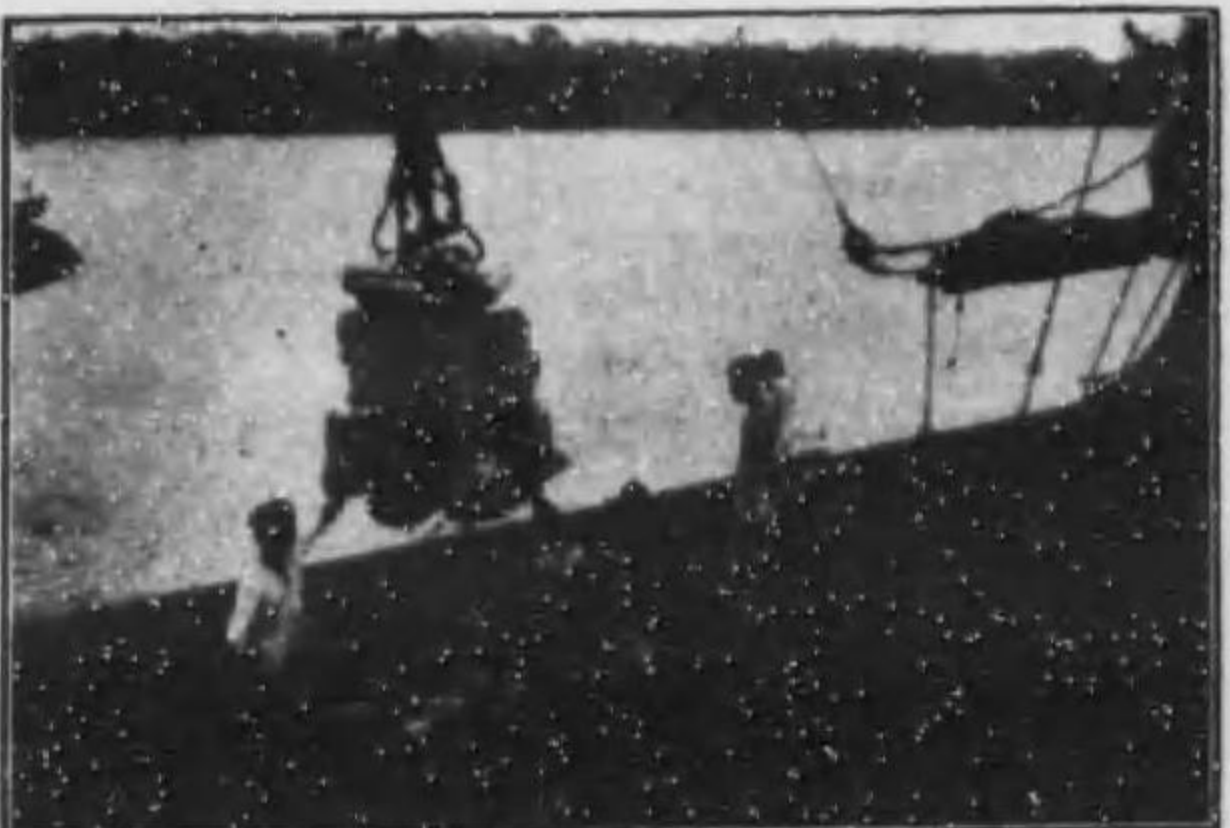
船筏ムゴる来りよ地奥



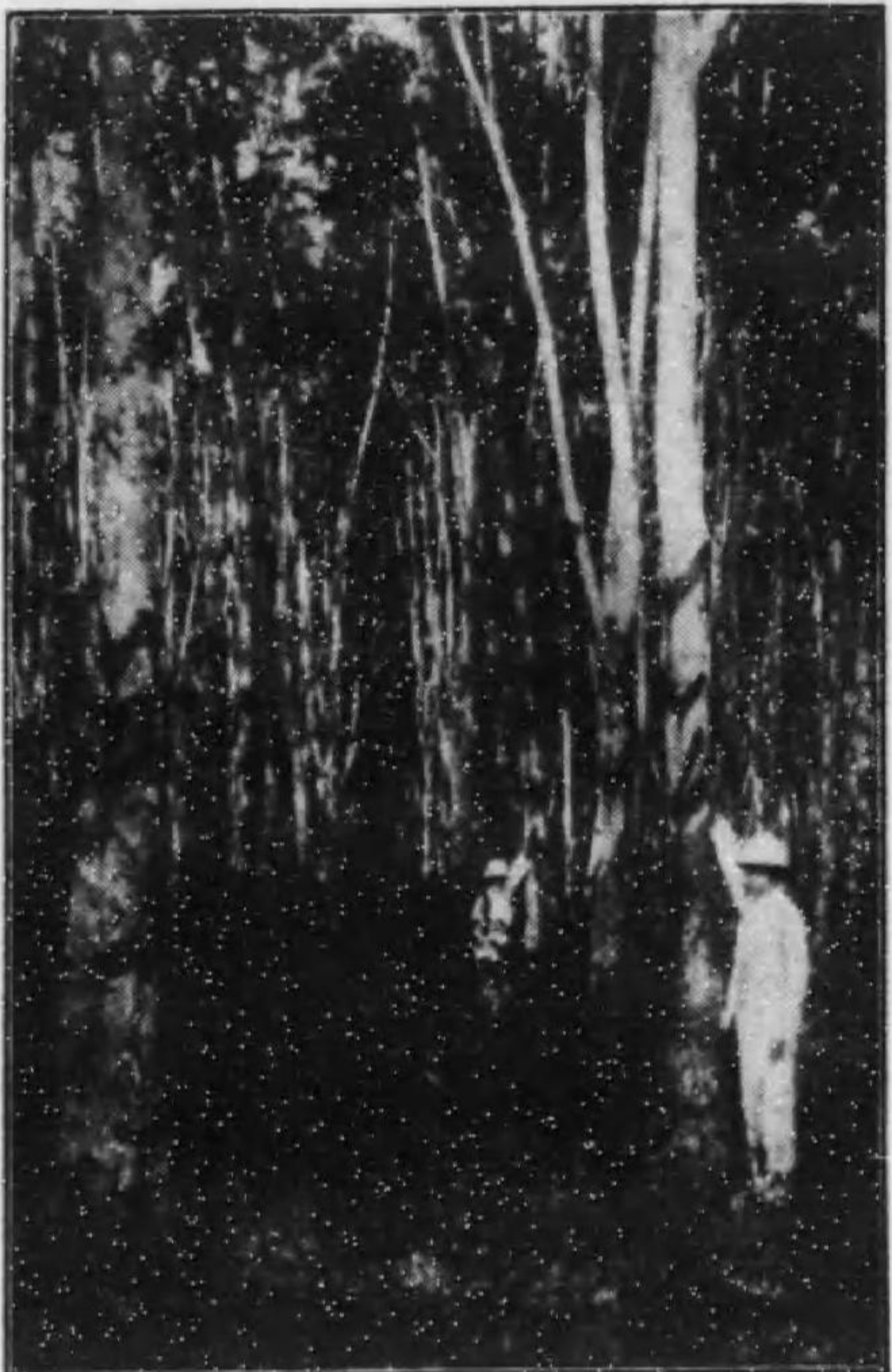
く行ひ運ら乍しか浮てし球數繫をムゴリ渡談商



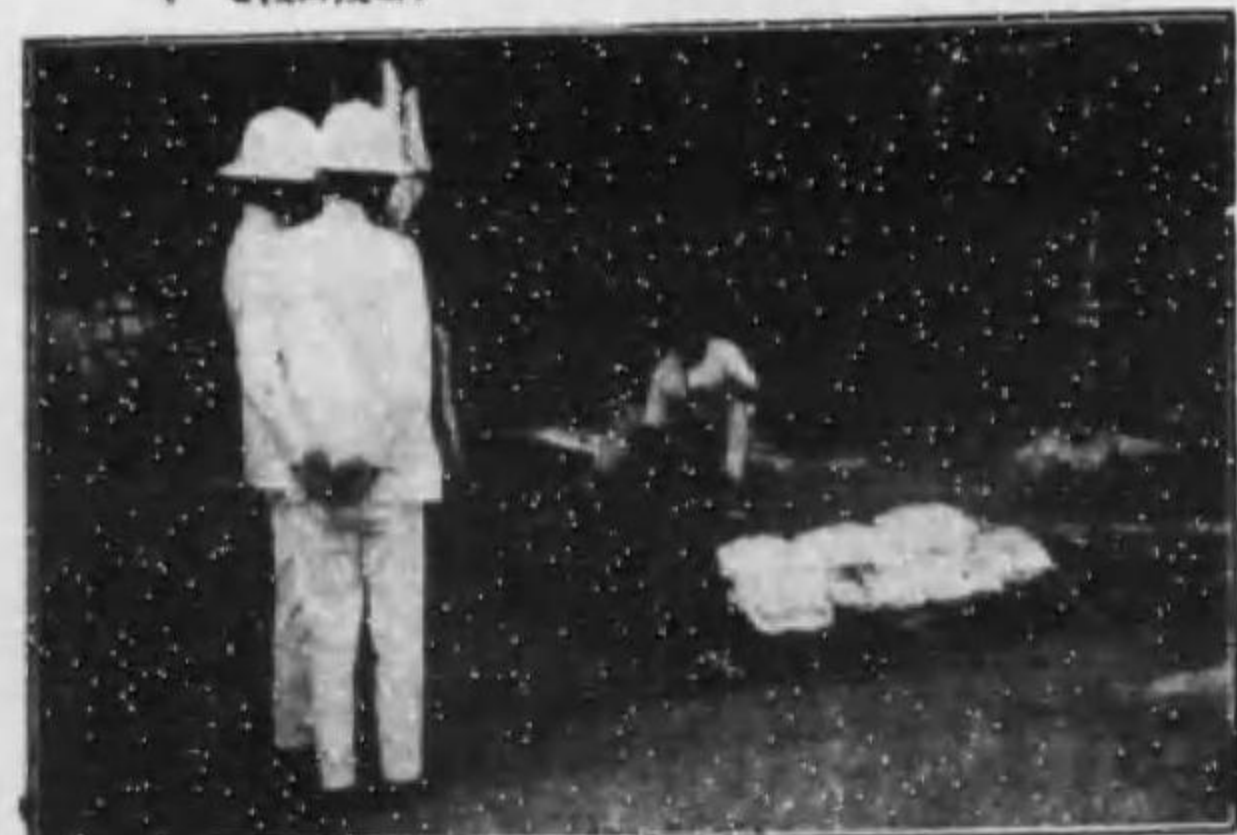
者筆と氏地曳て於に頭埠



込積のへ船汽



(遠近九尺八寸 三段四段) 付切度過と植密のムゴ人土



路傍にて乾燥



秤量

何故世界不況今尙恢復せざる今日此地方のみが斯く盛況を呈するやこいふに、一昨年度の輸出ゴム價格約千五百萬圓、昨年度は約三千萬圓を輸出したので、概算四千五百萬圓の正貨が此地方へ流入したのである。之が爲め世界人の視聽外に在る此南洋の一角に世界無比の活況を呈した。

我國經濟に比し僅かに四千五百萬圓と同視する事は出来ぬ。占埠州の人口十六萬人に比しての此金額を本邦人口に換算せば實に百七十億圓に當るのである、しかも僅かに二ヶ年間に此金額が流入したのである。

顧みれば大戦中數年間に三十億圓足らずの外資吸收に依り我國では彼が如き黄金時代が現出したのではないか、しかも將來此ゴムブームが數年續くものみすれば、彼等は何處迄有頂天なるであらうか。

閑話休題、奥地よりのゴムは水に浮し珠數繫ぎをなし其上に竹筏を組み小屋を建て五日以上十日行程も川を下し來り占埠に來れば、ゴム商に就き相場を尋合せ、相談纏れば取引をなすが不調の時は何日なりとも筏上の小屋に起伏して相場の上るを待ち合せ、又は直接船積して新嘉坡迄持出し植賣して居る。(寫眞参照)

萬寶號占埠支店にて目撃せし一例は地主及苦力總代の二名來訪し、擔八十八盾替にて六十二擔の買約品引渡済の際にて金五千四百餘盾を現金を以て支拂ひ、受取つた賣主は店頭にて

て直ちに二分し、地主苦力各其半部を收め、各其數千盾の紙幣を上衣のポケットへ無難作に捻じ込むだのを實見した。聞けば同店の顧客にて同園の約一ヶ月分の産額にて毎月六十擔内外を買受け居る由、同園には現在苦力十五家族程にて、此實例に依り、彼の地主が月收二千七百圓、苦力月收一家約百八十圓に該當する次第である。

土人園につき實視するに、此數字の過大誤謬ならざるを裏書した。極端なる二分主義は苦力をして多收多儲信者ならしめ、二分の一、V二段は愚か、二分の一V三段或は四分の一、五段切付をなし、切付ナイフに柄を附して地上六七尺以上の樹皮迄切付け居り、占埠町附近の七八年林は何れも過度深刻なる切付の爲め、木質部損傷甚敷く、既に三四年間の採收の爲め身長部以下の樹皮は悉く切付け終りあれば、今や第二次切付の爲め未癒着部或は五六尺は愚ろか八九尺の高位部を梯子を掛け切付け居る次第で、既に吾等に對し高位部切付面産出量激減の理を反問し、又此千載一遇の市價高位の此好況に從來通りの産量維持の爲め、斯く四段五段切付を行ひ時に一日二回切付を行ふなりと説明して居つた。(寫眞参照)

又地主として一段切を固守せんとするも、産量の激減は苦力の減收となり、奥地新園は苦力不足にて採收不能の状態なれば、奥地より好條件の應聘勧誘者侵入し居るを以て、苦力留置策さしても深刻過切の多産を默視し居る状態である 故



に苦力としては標準収入以下になれば轉々去つて新園に至り又此手段を繰返し、ゴム樹を何の考慮なく切荒しに廻つて居る實情である。

故に同州將來の産額は此深刻過度切付の爲め樹齡増進と産額増進は並行するものでない。只採取苦力數に依つてのみ産額増加を推測し得るのである。

黄金の雨降る占埤の噂は、既に馬來方面に響いて居る。便船毎に馬來在住の爪哇人バンヂヤル人は續々渡來して來るK.P.M汽船は三日航程、新嘉坡よりの三等賃金五盾である入國税を要せぬ和蘭籍民は將來共馬來よりの渡來益々増加する事と信ずる。従つて此影響は土人園多き馬來バトバハ邊に及ぼし、苦力不足に續いて勞銀騰貴を促し來る事と考へられるが、汽船の輸送力には限りあり思ふ程苦力渡來はないと思はれる。

## の土人ゴム

濡れゴム *Wet Rubber* 即ち土人ゴムはボルネオ、バンヂヤルマシンにも産出し大正十三年輸出約一萬六千噸である。此地の野村精製工場の話では、此内の純ゴム分は平均六割以下である。バイテンゾルグ中央試験所調査表も大凡此數字を示してゐる。

占埤に於ける土人ゴムは一層酷い、彼等は乳液をブリキ鏝に入れ、明礬液を過度に投入し其上屑ゴム土を混入し、凝固終れば直ちに地上に出し陰干にする事二三日、此間其兩面に出来るだけ泥土を附着せしめ、恰も安部川餅の如きものに仕上げると共に、水分蒸發をさける爲め、直ちに水中に投入し其市場へ送致するのである。故に長時日水中に在る品は水垢、藻の寄生せるものあり、斯くして彼は含水の重量品を賣却せんとし、甚数はゴム中より布包の土塊、水入ビール瓶等が表れ來たる實例もある。彼等は如何にして相手を瞞着し不正の利を獲得せんかと努力して居る。其奸智驚くべきものである。萬寶號の實驗では純ゴム分五割以下の品多しこの事である。(寫眞参照)

近來和蘭官憲は不正行爲をなし土砂其他不純分混入品は發見次第現品沒收罰金賦課の布告ありたるも、今尙此弊習根絶せず。

然るに新嘉坡官憲發表の統計には蘭領土人ゴム輸入量は、蘭領税關の輸出數字に基き其二割五分を控除して、残り七割五分を乾燥ゴム量と計算して居つた。

筆者は前述の實狀に基き此數字に大なる疑念を持つものである。年額十萬噸に達する土人ゴムの此誤差は數萬噸に達する。各種各方面につき實査せざれば確言はなし得ざるも、濡れゴム量の三割五分又は四割五分以上も控除せざれば近似

数を求め難きに非ずや。従つて輸出入量差引新嘉坡在荷數量に大なる誤差を生じ、延いて該統計を信頼する、世界斯業關係者に不利を與へざるやを憂へて居る一人である。

### 將來の産額及消費の關係

(苦力大不足……土人ゴム誤差)

本年度の産額に對しての豫想は數ヶ處より發表されて居るが、世界産出の七割五分が英系のゴム園より産出せられ、又世界消費の七割が米國で消費され、しかも頭書の如く之が爲め英米國際戰が惹起して居る次第なので、英は賣手、米は買手で利害相反して居る。故に米人の調査は常に生産は過大に消費は過少に見積られ、本年度は生産過剩従つて品不足の爲めに暴騰性を抑壓するが様にも邪推せられ、英人側發表は幾分之に反するやにも考へらる。

栽培業者たる筆者は買手である米人側の調査に基きて研究する方が尤も安全である。

(第廿六表)

地 名	噸 數
一九二六年生産額豫想(米、海外物産會社調)	
馬來、錫 蘭	三十三萬五千噸
關領東印度	二十三萬噸

其他 東洋	三 萬 噸
ブラジル	二 萬 五千噸
其他 野生	一 萬 噸
合 計	六十三萬噸

右表の内馬來錫蘭は本年二月より限産解禁となつて十割生産となり、此數卅三萬五千噸は、英領兩地の生産標準總量である。昨年度の兩地産額は廿四萬噸であつた故差引九萬五千噸の増額なるのである。讀者は可能生産量を限産して居つた故、市價昂騰好利の際なれば其全産量を産出し得るは易々たらん直覺されんも、筆者は全能力産出を不可能と思惟するのである。最近の不況に各國は節約に節約を重ね緊縮方針を探り而かも六割生産の苦楚を嘗めし此五ヶ年間に不要の苦力は漸次解備し實に其五萬七千餘名は本國印度或は支那爪哇へ歸國して居るのである。

(第廿七表)

年 次	大 正	印度人、支那人合算	馬來移民局調
一九二〇	九	二十一萬六千五百八十八名	
一九二一	十	十五萬六千三百四十一名	
一九二二	十一	十五萬八千七百九十四名	
一九二三	十二	十六萬三千百〇五名	
一九二四	十三	十五萬九千三百五十七名	

右一九二四年内譯印度人十一萬九千餘名、支那人三萬八百餘名、殘餘九千餘名が爪哇人馬來人であり、印度人は七割五分を占め支那人苦力は約二割、爪哇馬來人は僅々五分に過ぎぬ。故に昨年夏以來本年二月初迄に十割生産に要する苦力を招致し得るやが問題の焦點である。十割生産をなさんご欲せば、其領内に何名の苦力が必要なるや否何名の採收苦力を入園せしむべきか。

中等園に於ける採收苦力一人受持四百本にて約四英加の採收林である。英加年産三百五十封度とせば苦力一人一年採收一千四百封度となる。九萬五千噸は二億二千八百八十萬封度に當る故、採收苦力十五萬二千名の入園實働あるに非ざれば産出不可能である。

又他の算法に依り、英領兩地の栽培面積は二百六十四萬英加であり、採收面積二百四十八萬英加である。此内六割限産に依り、約四割即ち九十九萬二千英加は休採面積である。採收苦力受持面四英加とせば二十四萬八千名となり、隔月採收法を行はしむるも十二萬四千名の入園實働を要するのである。馬來聯邦州印度移民局統計に依れば印度移民の來往次の如きものである。

(第廿八表)

年次	大 正	入 國 者	歸 國 者	差	引
一九二〇	九	五七、六三七	四一、一〇四	殘留過	一六、五三三

年 次	大 正	印度人、支那人合算	馬來移民局調
一九二一	十	三三、七四七	四四、〇四〇
一九二二	十一	四〇、四一三	三二、八七一
一九二三	十二	二四、八九八	三〇、七九五
一九二四	十三	三九、二八一	二七、九二二
一九二五	十四	四八、二一四	三〇、〇五一
八 月 中			殘留過 一八、一六三

此數字は男女老幼の合計にて労働者は此内約八割である。無論此内には鐵道、礦山行もある。

昨年上半年よりの好況に於て入園超過八ヶ月間に一萬八千名である。此外支那人の入園あれど、出稼人本場の廣東福建兩省は近年排英思潮瀰漫し殊に廣東香港は國交斷絶の現状なれば、多數の支那苦力の入園を期待し得ず、且其上ヂヤムビ渡航の爪哇人増加の際故、本年二月迄に五萬人も苦力が入園せば最大限ならんと思ふが、なかなかそうは行かない。錫蘭馬來の産出量比例は二に八なれば、馬來のみに最少限十萬名を要する十萬名に對し假りに五萬名とするも半數である。増産せしむべき四割は二割より増加し得ない。此點より考察せば馬來十割産は實際に於て、生産標準量の八割より産出し得ない計算となる。

尙斯業の好況に乗じ新開墾を企つる者隨所に起りあれば、此方面必要苦力も渡來苦力數より控除せなければならぬ。又馬來は我國と異り人口稀薄の新開地故無職の徒跣なく土着民を招募する事はあつても其數は微々たるものである。

故に錫蘭馬來に於て十五萬名の苦力充實期迄は、十割産出は到底不可能である。年末迄に假りに充實するとしても卅三萬五千噸の一割減産は確實なりと豫測せらる。

此外蘭領東印度土人ゴム十萬噸に對する精製減耗率誤差一割五分即一萬五千噸と概算せば苦力不足の三萬三千五百噸と合計し約四萬八千五百噸の豫算違ひを發見するのである。

本年二月八日米國ゴム協會發表の世界將來の生産消費表は最近の暴騰を計算に入れ、各國消費の減少と英領十割生産を加味したる上左の數字を發表してゐる。

(第廿九表)

年次	大正	生産見積	消費見積	差引生産過不足
一九二六	十五	六十萬六千噸	五十七萬五千噸	過 三萬一千噸
一九二七	十六	六十二萬三千噸	六十萬八千噸	過 一萬五千噸
一九二八	十七	六十三萬三千噸	六十四萬一千噸	過 一萬二千噸
一九二九	十八	六十三萬七千噸	六十七萬二千噸	不足三萬五千噸
一九三〇	十九	六十四萬一千噸	七十萬三千噸	不足六萬二千噸

買手である米國側の數字に依るも、本年度は生産過剰三萬一千噸である。

若し此數字の内前記の苦力不足、土人ゴム誤差等約四萬八千五百噸の違算が實際として現れ来るならば、本年末に至らば又々生産不足を告げるものではなからうか。

而して四、五年先きの事に關しては米國側の豫想でさへ、

八年目か八、九年目も先きになつて漸次産出量が増加し來るのである。

從來暑熱酷烈の地に於て、致々營々として辛苦育成に従ひ多年苦境に陥りて陰忍持久漸くにして今日を迎へたる斯業者は、波瀾荒き斯界の事なれば時に騰落ありとも先づ茲許少くも七八年間は其代償を獲得し得べき天理であるに信じて居るさらば遠き將來に對しては如何。

地勢地味等を厳選し、強壯豊産の樹種を栽培するに於ては假令將來生産過剰ゴム價激落期に際するとも、ゴムの需要絶滅せざる限りに於ては、園其物の能率大なるに依り、他園に對し優勝の地位を占め得るを以し、斯業の前途に對しては決して憂慮を抱く必要なきものである。

神は働く者を助くさかや。彼の營々として餌を運び冬に備ふるの蟻。鳴奏徒らに日を送り秋冷身に滲みて悲鳴を上ぐるの蟋蟀。英米今日のゴム論争に於て何れが蟻か何れが蟋蟀か。

イソップ童話は昔から世界民族に此訓話を傳へて居るではないか。(十五、四、三、)



生産不足を發表して居る。

されど此時に當り考慮すべき問題は、市價の昂騰に伴ふ、材料節約と代用品使用増加である。市價が新嘉坡二弗三弗といふ高位となれば茲に材料節約が行はれ、再製ゴム業も起りて需給相叶ひ、市價の暴騰を抑制するの事となるは當然であるが、現在今日では昨年末高價の半値になつてゐる故、再製業者の方が經營難に陥つてはるはせぬか。

次には三年五年間の前途豫想に當つては、果して今日の景氣が持續するや否や將亦突發事件勃發し、豫測通り消費量が累年増進せざるや否やに懸かるのである。

市價が二弗三弗に暴騰せず、又突發不良事件勃發せず今日の景氣持續する範圍内に於ては途中相場の高低波瀾はあらんも、今後五六年間は市價漸騰すべき性質のものに確信して居るのである。

### 結論

今日の好況、將來のゴム飢饉に鑑み、新園開墾が逐日増大して來てゐるが、ゴムは米、綿、麥、甘蔗等の一年草とは異り此年植へて本年度から産出するものでもない。着手後早くも六年目、しかも最初より開墾計畫の全部が植附られるものでない。植附年順に従つて逐年採收期に入るのであるから七

### 南洋小話

赤道直下の熱帯圏では殆んど四季の別はありませぬ、年中夏ばかりで白服や浴衣掛けで暮せる處です、新嘉坡在留邦人は年始には帷子に絹の羽織着用で、汗を拭きつゝ、年酒を酌み交はし、フーフー云ひ乍ら雑者を祝ふ次第です。

「誠に御久し振りで御座います、今日はお正月ですから少しは御ゆるり遊ばせ、一浴びお汗を流して内の浴衣とお着換遊ばして、マア御ゆるりと……」

これが正月廻禮に往つた時の先方奥様の御挨拶振りであります。

鹿はゴムの甘皮を喰荒らし、象は嫩葉若木を嗜喰する、殊に象群が來襲せば多年苦辛のゴム數百本をも一夜の内に荒し去る。鹿はゴム園害獣である猪鹿を捕食し驅逐するので見方によれば益獣ともいへますが、飼養の豕羊犬位を掠め去る間はよろしいが、一度人間の味を覺へた人喰鹿になると大變です、夜間に限らず白晝作業中の苦力を襲ひ悠々として銜へ去るので、之が現れると苦力共は恐れて出動せず作業に大影響を及ぼします、挿入官眞は當社ゴム園及附近で約九十人を喰ひ荒らした猛虎で、遂に陥穽にかけて生擒射殺した老虎です、鹿猪類は逃げ足が速いので捕へるに骨が折れるが、人間は一咆へ咆へると腰を抜かして逃げないから一番捕へ易いと虎仲間の話だと馬來人から又聞きました。

友人杯との會合の記憶を辿るに、櫻が咲いてゐたとか、浴衣掛けで居たとか、涙目を惜みながら咄したとか、ストロブがあつたとか、俳句の所謂季節が其環境に映じて凡そ何月頃とかの記憶が起りますが、彼

地は數千年來終始一貫の常見ゆへ、此事が絶対に出來ず此點は吾等温帯人の想像に及ばぬ處です、といつて赤道直下焦熱地獄の様に思はれますが、新嘉坡附近は年中の最高華氏九十六七度、普通九十度内外であるので、土用中九十八度百度もある我大阪の住民に探りては苦痛でも何でもありません、家屋構造設備も行届き常に薰風吹き渡り時々沛然たる豪雨が降るので、大阪の極暑期よりは却て樂に暮せます。只季節の變化なく夏計り續くので、身神が自然とダレて参ります。

瓜哇に於ては村長庄屋格の人をウエドノと呼びます、ウエは上、ドノは殿とも思はれます、又馬來芝居の舊劇では、會長村官級に對する尊稱にカミと謂ひ、此等の人々相互間にもカミと呼び交はし、又此等の人々の複数をカミガミと唱へます、此場而此發音を見聞した私は、肅然として八百萬の神々……天安之河原の古事を聯想せずには居られなかつたのです。

竹の住に茅の屋根 根太を立て床を高め板を張るのは、西洋にも支那にもなく彼等の家屋は土間で上つてすわりませぬ。床下床板を設けるのは、日本比律賓、ボルネオ、瓜哇、スマトラ、馬來方面が同一系統の様に考へられます。併かもスマトラ、ボルネオ海岸の一部には棟が高く立派に干木鯉魚木が上げてあり其他の構造様式が我が神社に髣髴たるものがあります、又我古代家屋資料として有名な下野國雀宮アヤマ塚出土の切妻造家屋形の複製と同様式即ち棟の方が庇の方より長い型の倒立梯形屋根の家屋及び屯倉などは、スマトラ一部に深山現存してゐます。又川中に筏を浮かし其上に末社ソツタリの小屋を設けて水浴所及便所に充てゝゐます、我國の川屋(厠)の語原の條にも考へられます。

彼地主民は概して蒙昧算數觀念に乏しい、殊に彼等は年齢を知らぬ、年齢といふ事は彼等の話題には上らぬらしい、若い、年寄といふ語はありますが、四季寒暑の判別がないだけに年といふ觀念が起らぬらしい、ゴム園で多年使つて居る白髮禿禿六十歳以上の男に對し

○「お前年はイタツになつた」×「サア……トワン」且「那」イタツ位と思ひなされる」と反問をうける。○「お前が内の園へ來てから十年になるからサア三十五歳位か」×「サア」そんなものですかな——」と馬耳東風、丸で他人の事の様な返事をする中には聯想觀念に依つて年齢を答へる者がある。

○「お前も大分ふけて來たな」×「ヘエ」○「眼も窪むだじ齒もぬけたやないか」×「近頃大分眼が悪くなりました」○「イタツになつた？」×「エエ……」周囲を見廻はし適當な椰子の木を見付けそれを指示して「マア、あの椰子位です」

得々然と、したり顔をする。こちらはあきれて眼をパチクリするのみ彼等土民間にはあの椰子は祖先が植へた木之は父が植へたもの、此木はお前の産れた時に植へた木であるといふ程椰子との關係が深い、椰子の果實より採る椰子油は彼等日常の庖厨に缺くべからざるの品、從て年齢の見當を此椰子に依つて指示する次第で、お蔭で私も自分の年齢は椰子の木で云ふ事が出來ます、山中曆日なしとは、全く彼等の境遇です。

子衆が汽車に轢殺された翌日親象が復讐の爲め汽車めがけて突進、其象は轢殺汽車は脱線、自動車で旅行中虎に追驅けられ、フィールスピードで漸く危地を脱したといふ話。川海や洗濯する子女が鰐に渡らされた事やら、獵犬の大トカケが毎夜壺所附近を徘徊し、鵝を盗み去り又二間以上の錦蛇が羊を嚙下したので、廣人等が遂に之を撃ち殺し其肉を大勢寄つて舌鼓打つて喰べたといふ様な話は山程あります。

大正十五年六月廿日印刷  
大正十五年六月卅日發行

以印刷  
代贈寫

無斷  
禁轉載

著者兼 發行者 奥村幸二郎  
大阪市西區北堀江通一丁目十七番地

印刷所 桃谷印刷株式會社  
大阪市東區鶴橋天王寺町カ七八五

印刷人 松谷誠一  
大阪市東區鶴橋天王寺町五七八五

524  
281

終

